

西宮市総合計画審議会 開催スケジュール(更新)

時 期	内 容	対外手続(市)
平成30年 2月21日(水)	第1回審議会(総会) ・委嘱状交付 ・会長・副会長の選任 ・審議会の運営について ・部会の設置及び部会長の選任 ・第5次西宮市総合計画策定方針等の説明 ・西宮市総合計画審議会 開催スケジュール(案)について 等	
3月28日(水)	第2回審議会(総会) ・人口動態・世帯構成・住宅等に関する資料について ・第5次総合計画基本構想(原案)の諮問について ・第5次総合計画基本構想(原案)について 等	
6月1日(金)	第3回審議会(総会) ・基本構想(原案)の審議	
7月	第4回審議会(総会) ●諮問【基本計画(原案)】 ・基本計画(原案)の説明	
8月～10月	第5回～第7回審議会(部会)の開催 ・各部会にて基本計画(原案)の審議	パブリックコメント (7月下旬～9月上旬)
11月	第8回審議会(総会) ・部会での意見の報告 ・パブリックコメント結果の報告 等	
12月	第9回審議会(総会) ●答申【基本構想(原案)・基本計画(原案)】	
平成31年2月		市議会へ総合計画 (案)の議案提出
3月		市議会にて議決

人口動態・世帯構成・住宅等に関する資料

1. 人口動態

(1) 本市の年齢別の転出入者数の推移

(過去5年間の年齢別転出入者数)

- 転入、転出ともに22歳が最も多く、次いで20代後半から30代にかけての子育て世帯の転入が多くなっている。

(直近1年間の年齢別転出入者数)

- 平成29年の転出入について、子育て世帯等の転入が転出を下回り、転出超過に転じている。

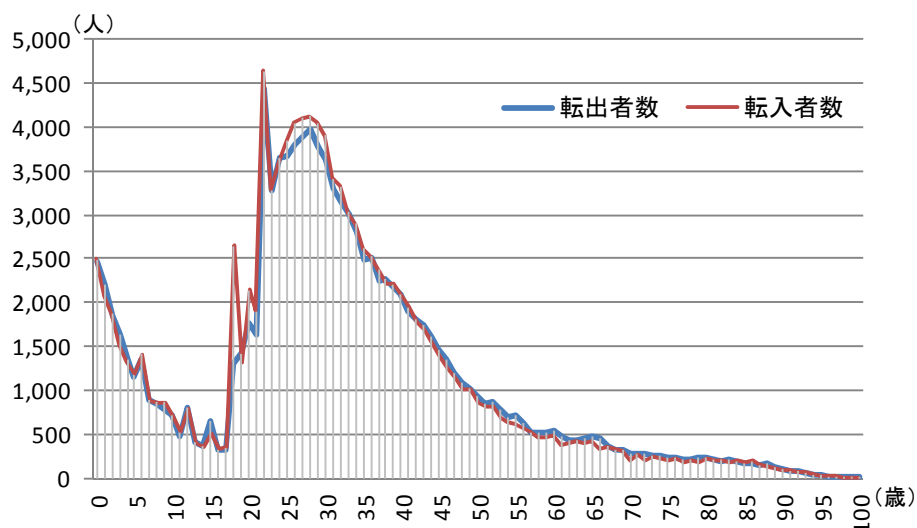


図1 過去5年間の年齢別転出者数・転入者数（平成25年～平成29年）

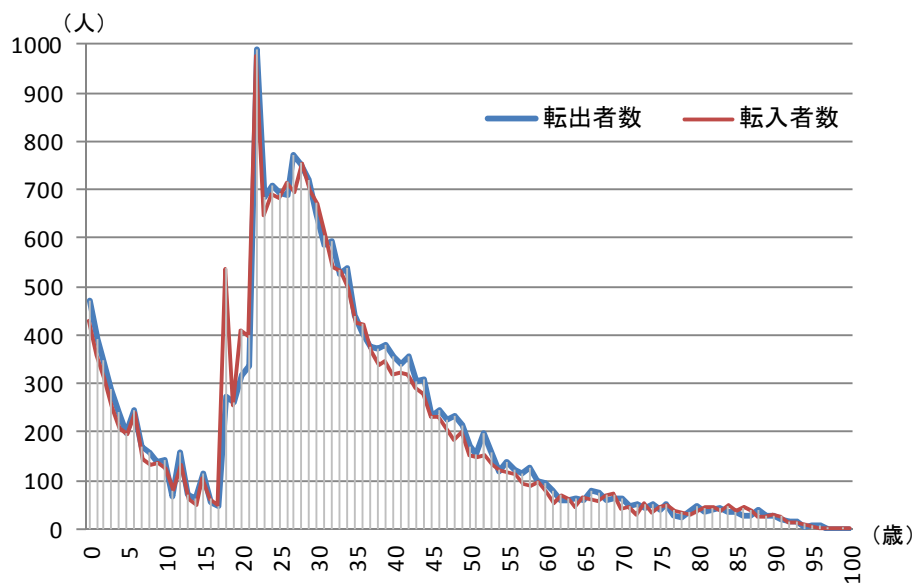


図2 直近1年間の年齢別転出者数・転入者数（平成29年）

(2) 本市と近隣の同等他市区の転出入者の推移

ア 過去5年間の転出入者の推移

(大阪府)

- 豊中市、吹田市では、**子育て世帯の転入**が転出を上回っている。

(県内)

- 神戸市中央区では、**20歳代の転入**が転出を大きく上回っている。
- 尼崎市では、20歳代の転入が転出を上回っている一方で、**子育て世帯の転出が転入を上回っており、転出超過**となっている。
- 宝塚市では、20歳代の転出が転入を上回っている一方で、**子育て世帯の転入が転出を上回っており、転入超過**となっている。

イ 平成29年の転出入者の推移

(大阪府)

- 豊中市では、**子育て世帯**、及び大阪市淀川区・福島区では、**20歳代の転入超過**の傾向が続いている。

(県内)

- 神戸市東灘区では、**20歳代の転出が転入を上回り、転出超過**に転じている。
- 尼崎市では、**20歳代の転入が多く**、30歳代の転出入の差が過去5年間と比べて小さくなり、**転入超過**に転じている。

※詳細は、別紙「過去5年間の本市及び近隣市区の年代別転出入の推移 (P. 7)」

「平成29年の本市及び近隣市区の年代別転出入の推移 (P. 8)」を参照。

2. 世帯構成及び女性の就業状況について

(1) 世帯構成

(世帯構成の比較)

- 夫婦と子供から成る世帯、及び夫婦のみ世帯の数は、微増またはほぼ横ばいで推移している一方で、**単独世帯の数は増加傾向**となっている。

1世帯当たり人員は減少傾向となっている。

(年代別の単独世帯数の推移)

- 平成22年、平成27年ともに20歳代の単独世帯数が最も多いが、平成22年と平成27年を比較すると、**80歳代以上が最も増加**しており、**次いで40歳代が増加**している。

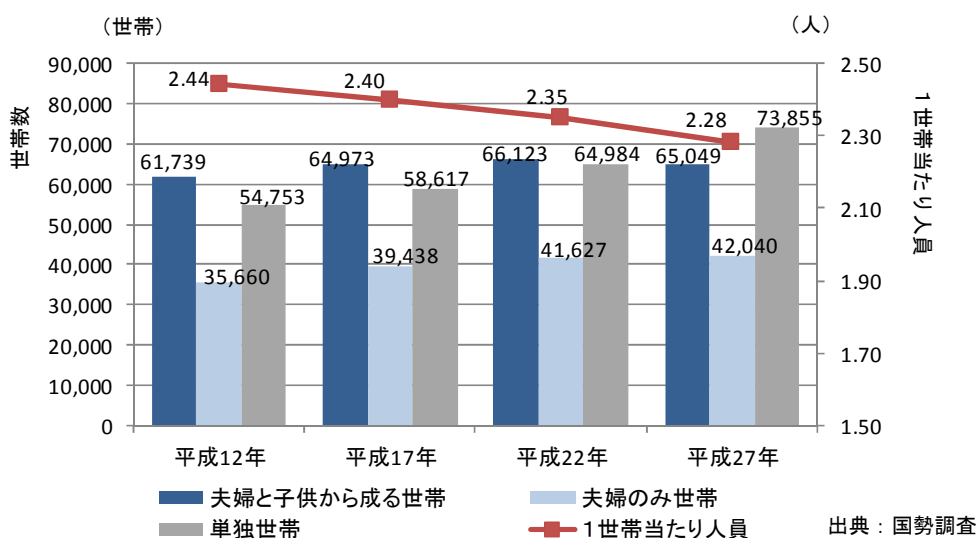


図3 世帯構成及び1世帯当たり人員の推移

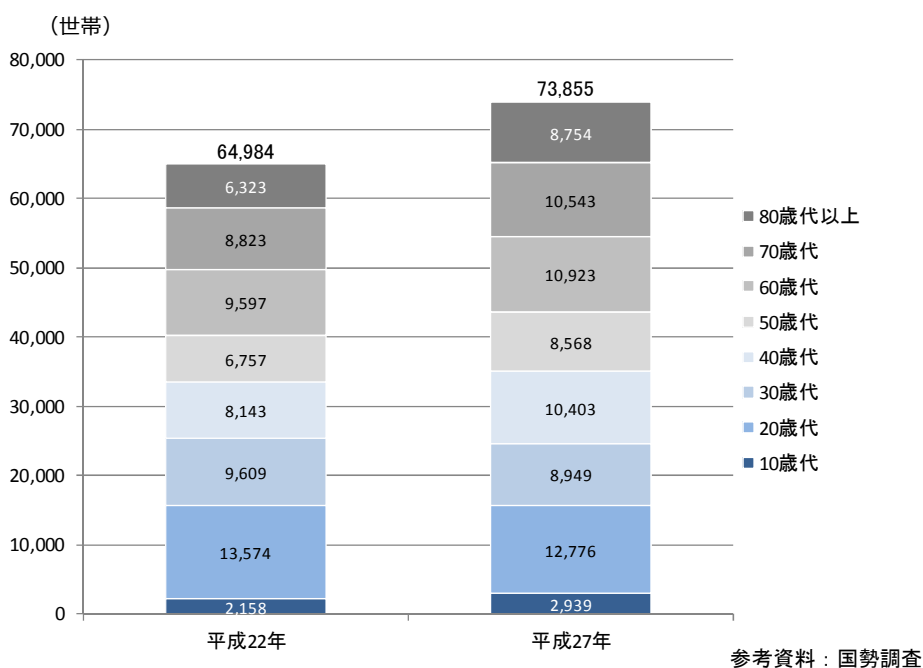


図4 年代別の単独世帯数の推移

(2) 女性の就業状況について

(15歳以上女性人口・女性就業者数の推移)

- 15歳以上の女性人口は、平成12年から平成27年にかけて微増傾向となっている。

(女性の就業率)

- 15歳以上の女性人口に対する女性就業者の割合は、概ね**40%程度で推移**している。

(年齢層別の女性の就業率)

- 20歳代から50歳代の就業率が女性全体を上回っているが、特に、**30歳代の就業率が上昇**している。

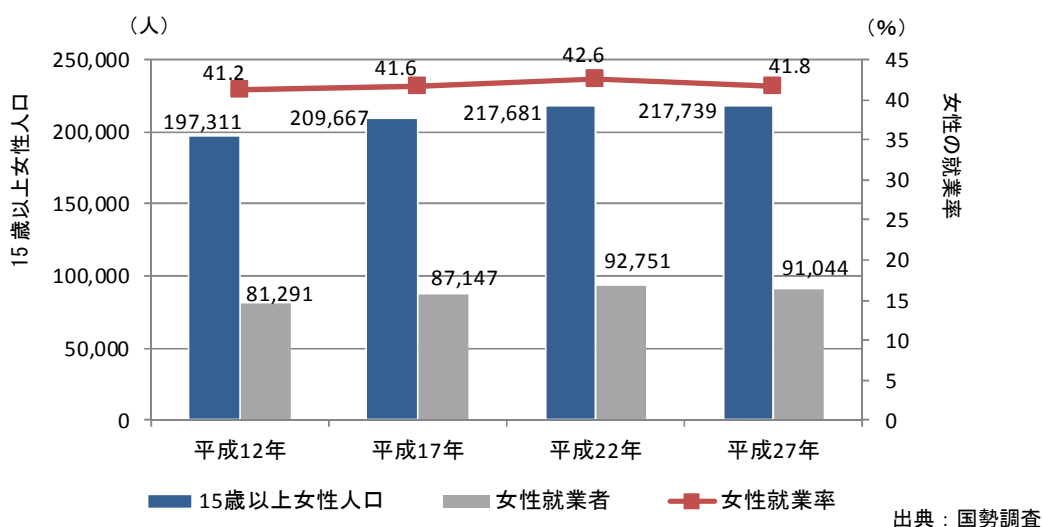


図5 本市の15歳以上女性人口及び女性の就業率の推移

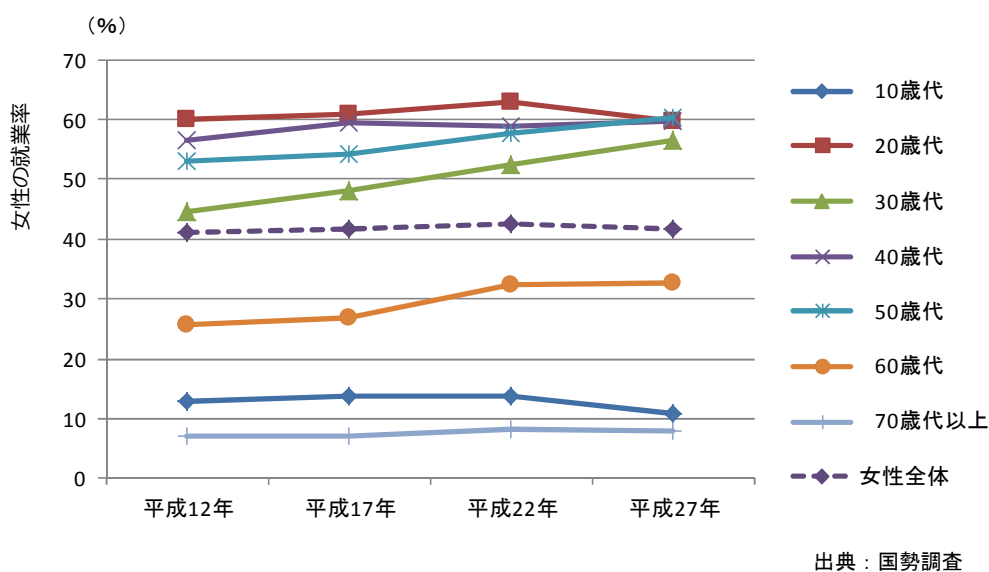


図6 年齢層別の女性の就業率の推移

(3) 妻の就業状況・共働き世帯について

(妻の就業状況の推移)

- 夫が就業している世帯では妻の就業者数が増加する一方、妻の非就業者数は減少している。

(共働き世帯率)

- 増加傾向であり、平成27年時点で共働き世帯率は約40%となっている。

(年齢層別の妻の就業率)

- 40歳代及び50歳代の妻の就業率が最も高いが、20歳代及び30歳代の妻の就業率が上昇しており、平成22年以降はいずれも妻全体を上回っている。

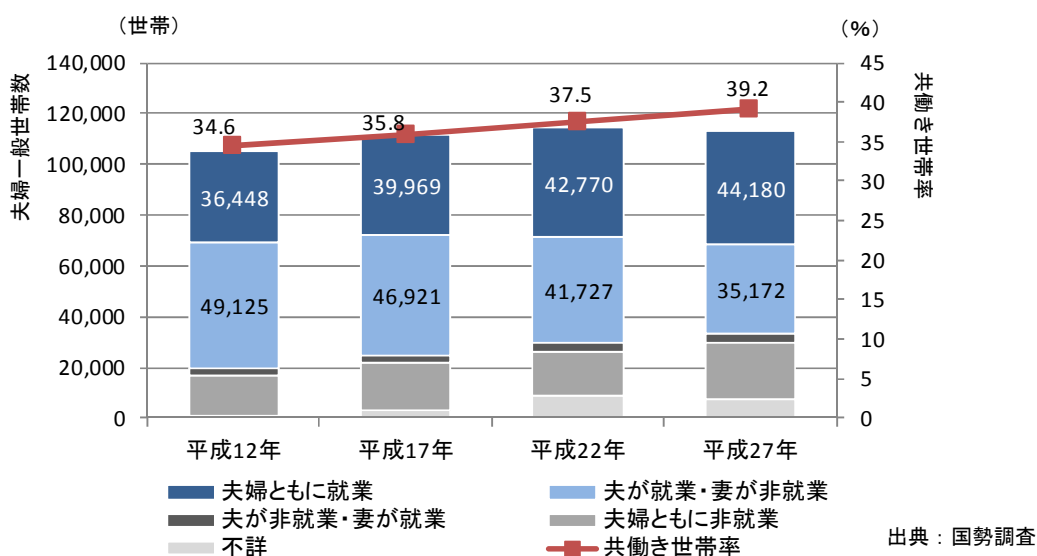


図7 夫婦一般世帯に占める妻の就業状況及び共働き世帯率の推移

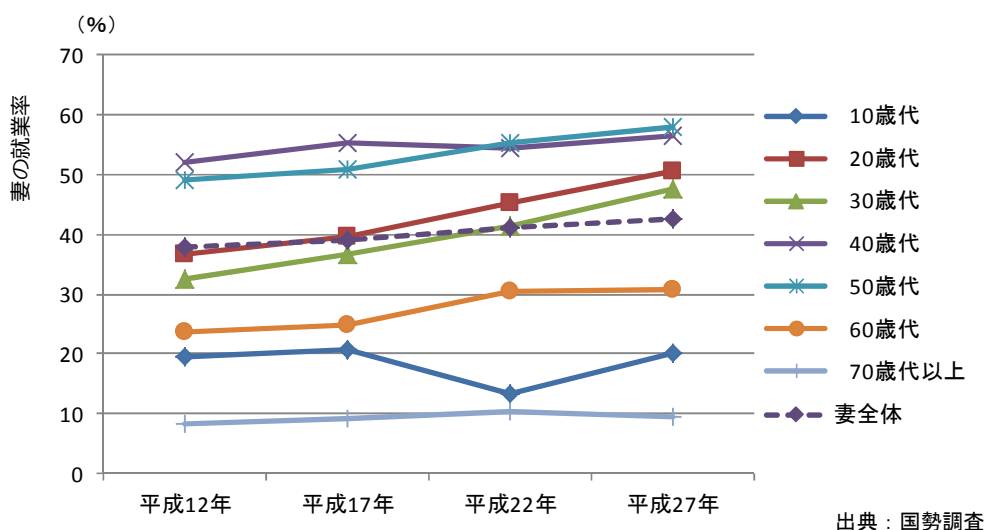


図8 年齢層別の妻の就業率の推移

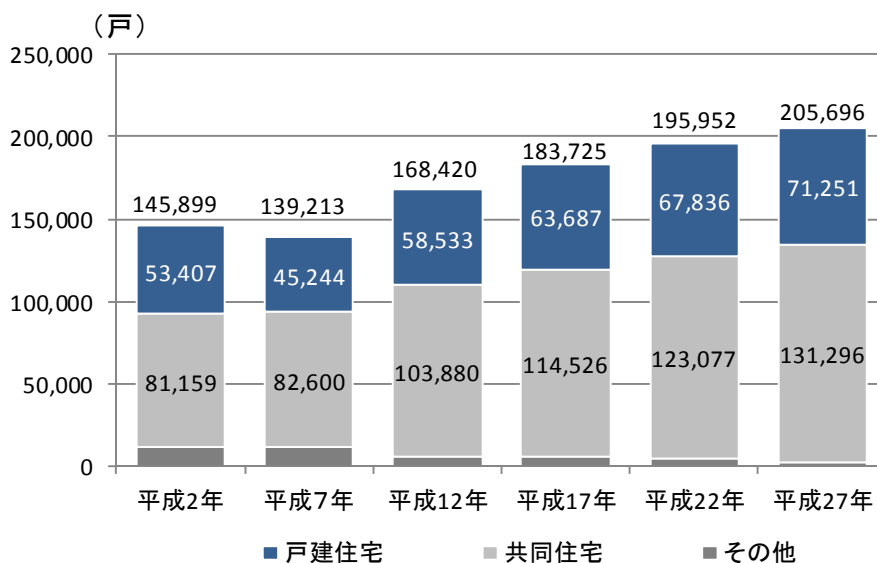
3. 住宅数の推移について

(戸建住宅・共同住宅数の推移)

- 一般世帯では、平成2年には戸建住宅は全体の37%となっていたが、平成27年には戸建住宅が35%、共同住宅が64%となっており、共同住宅の比率が増加している。

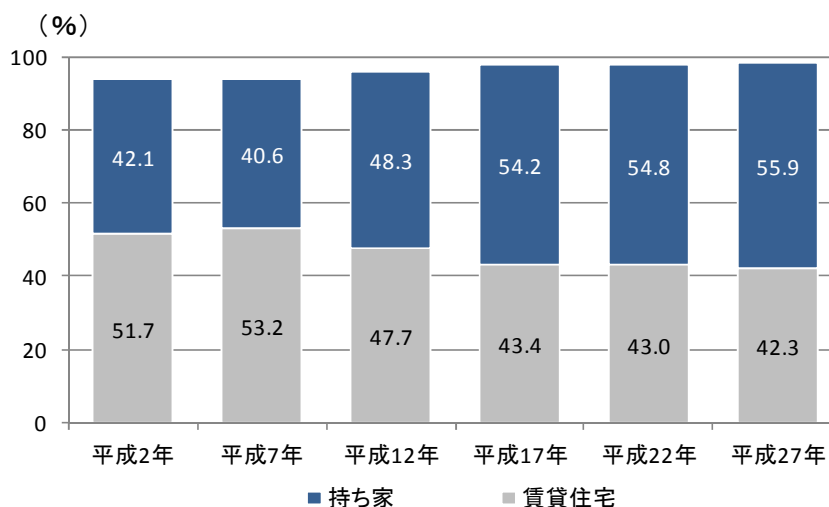
(持ち家、賃貸住宅の比率の推移)

- 住宅の所有について、平成7年までは持ち家比率は40%程度で推移していたが、平成12年では賃貸住宅と持ち家がほぼ同数となり、平成27年では持ち家比率が55%を超え、賃貸住宅を上回っている。



出典：国勢調査

図9 一般世帯の住宅数の推移



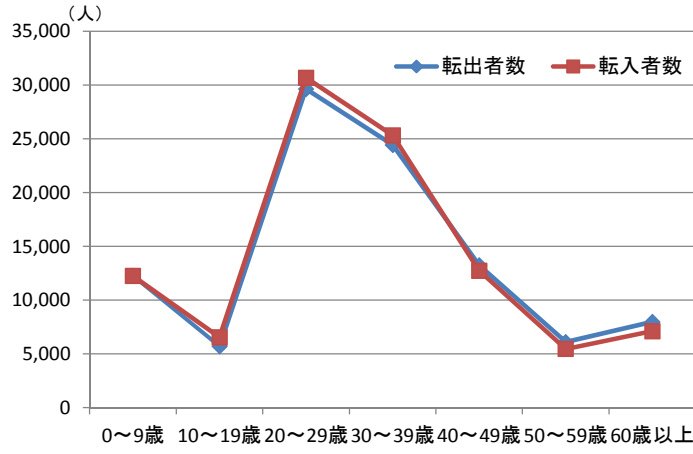
出典：国勢調査

図10 持ち家・賃貸住宅の比率の推移

○過去5年間の本市及び近隣市区の年代別転出入の推移(平成25年～平成29年)

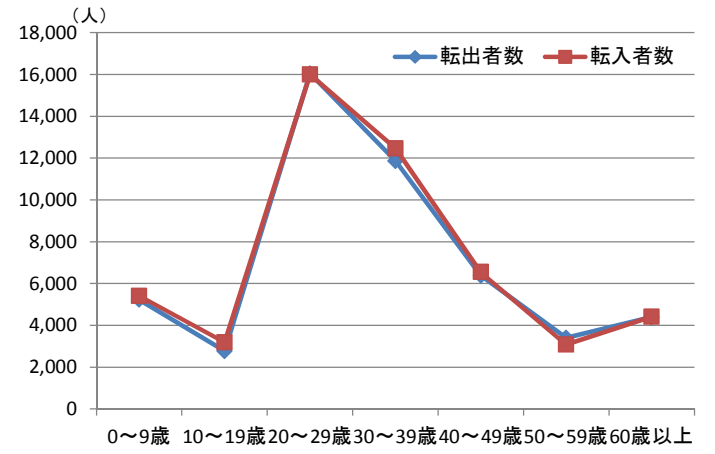
西宮市

転入者数	100,108
転出者数	99,376
転入者数-転出者数	732



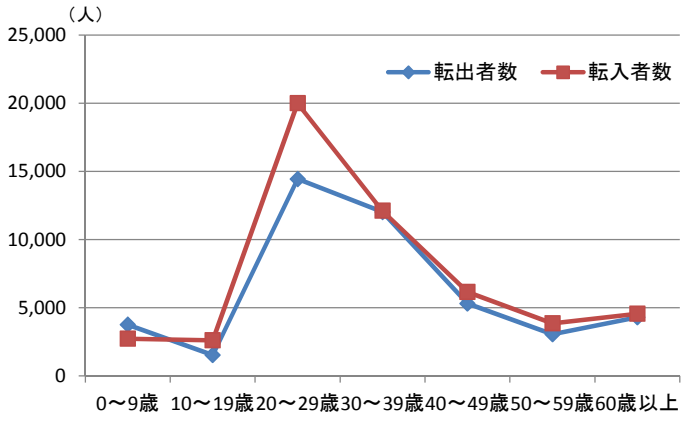
神戸市東灘区

転入者数	51,105
転出者数	50,100
転入者数-転出者数	1,005



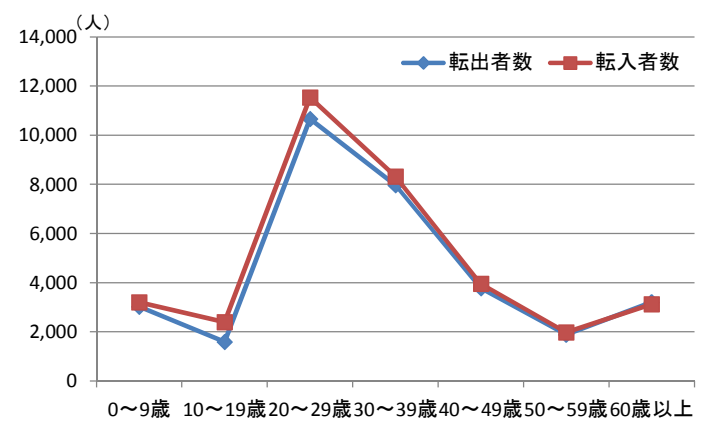
神戸中央区

転入者数	51,924
転出者数	44,327
転入者数-転出者数	7,597



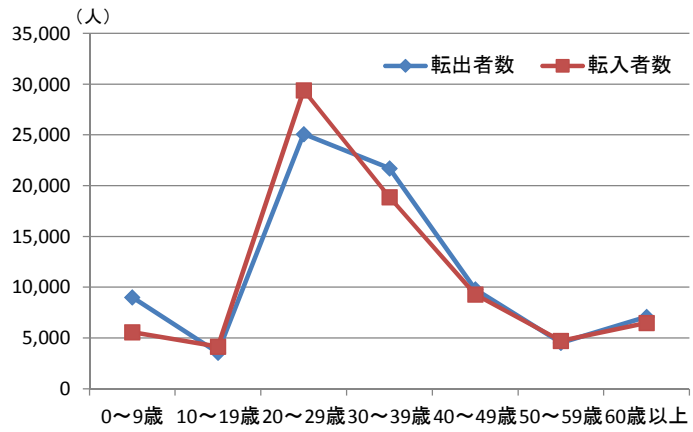
神戸市灘区

転入者数	34,489
転出者数	32,072
転入者数-転出者数	2,417



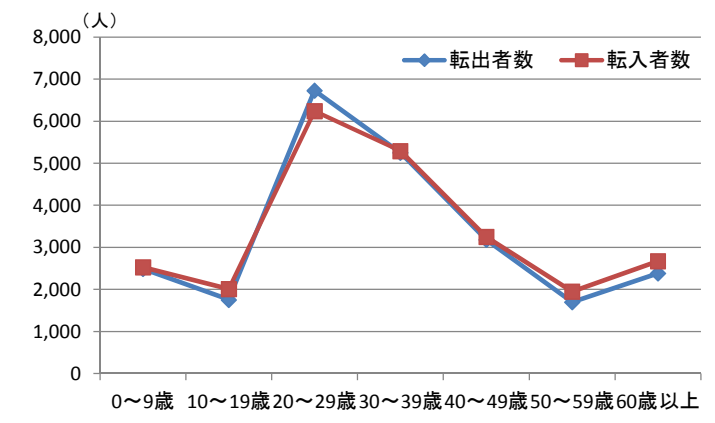
尼崎市

転入者数	78,484
転出者数	80,687
転入者数-転出者数	-2,203



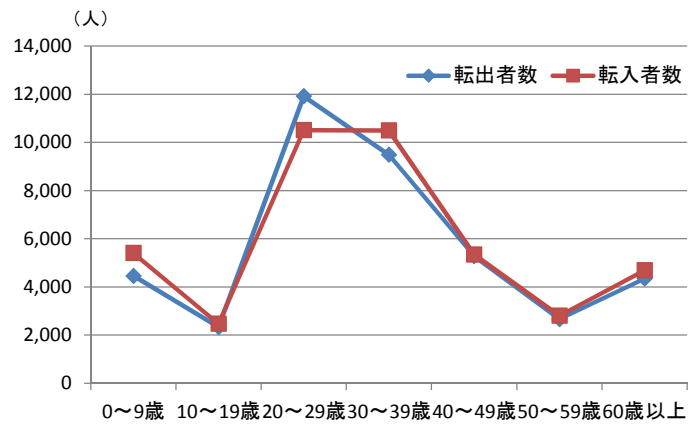
芦屋市

転入者数	23,933
転出者数	23,471
転入者数-転出者数	462



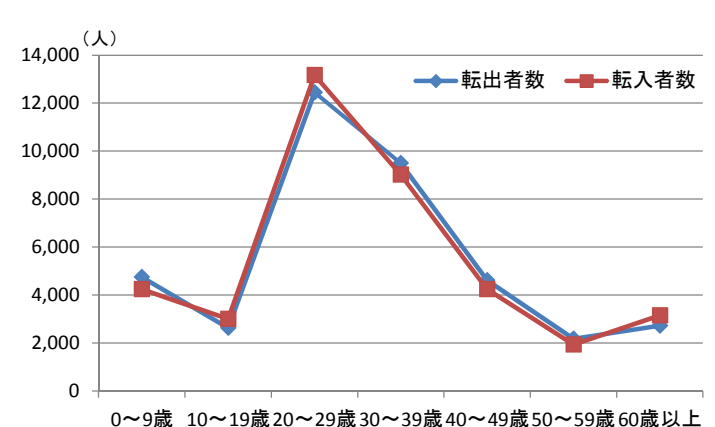
宝塚市

転入者数	41,725
転出者数	40,487
転入者数-転出者数	1,238



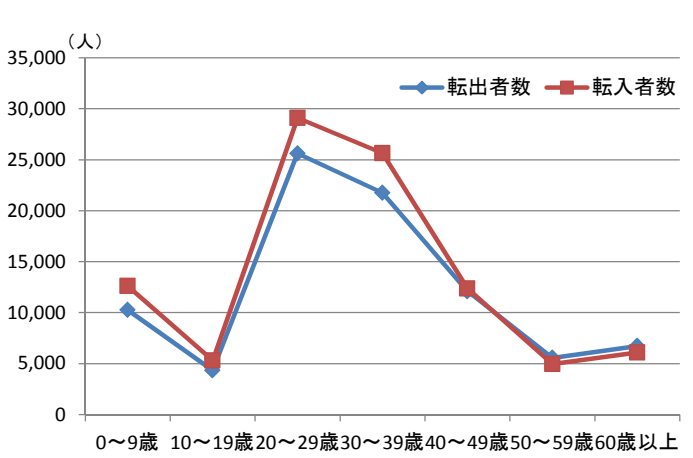
伊丹市

転入者数	38,767
転出者数	38,841
転入者数-転出者数	-74



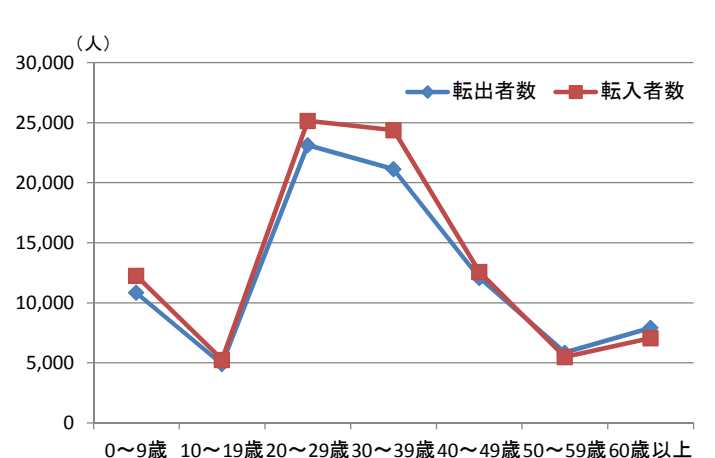
吹田市

転入者数	96,075
転出者数	86,338
転入者数-転出者数	9,737



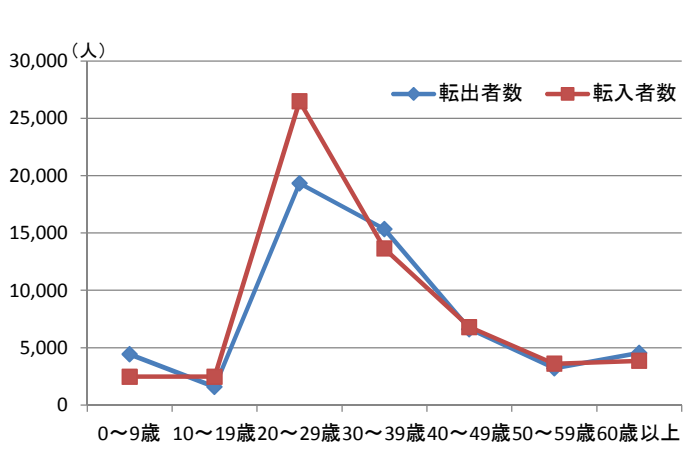
豊中市

転入者数	92,174
転出者数	85,855
転入者数-転出者数	6,319



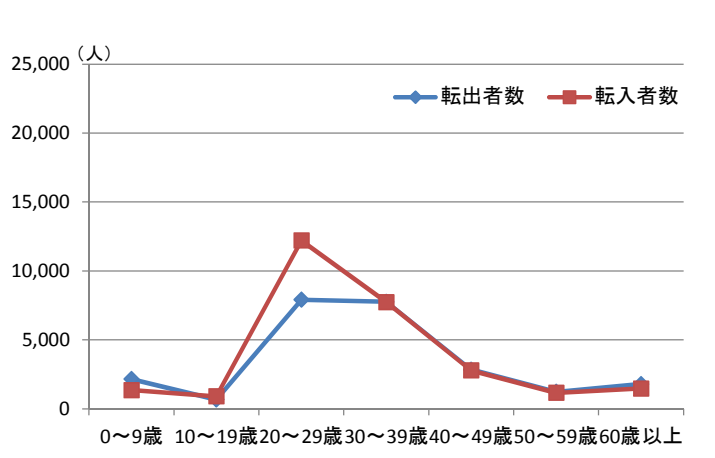
大阪市淀川区

転入者数	59,305
転出者数	55,083
転入者数-転出者数	4,222



大阪市福島区

転入者数	27,579
転出者数	24,333
転入者数-転出者数	3,246

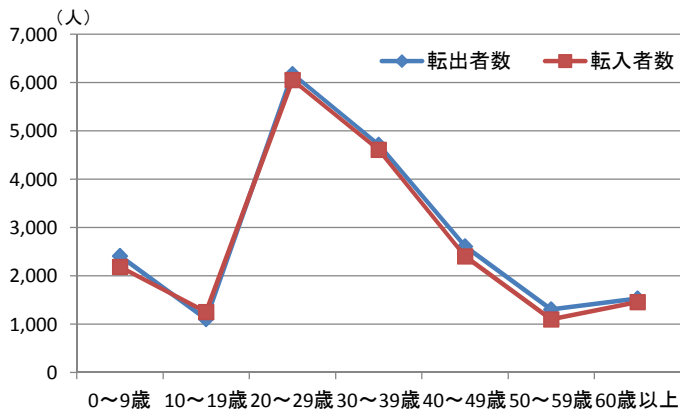


※備考 転入者数-転出者数 黒字:転入超過
赤字(マイナス表記):転出超過

○平成29年の本市及び近隣市区の年代別転出入の推移

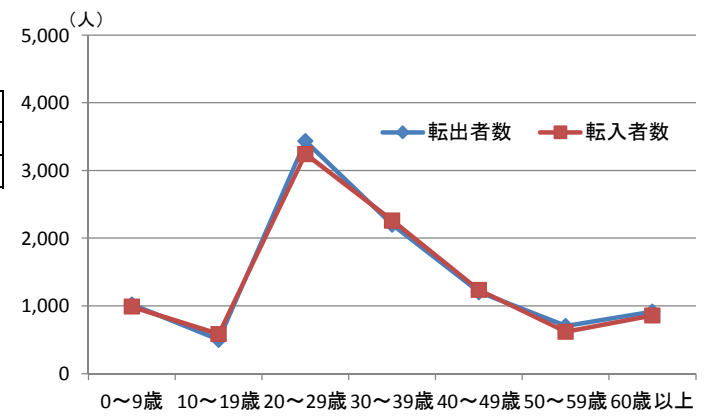
西宮市

転入者数	19,056
転出者数	19,842
転入者数-転出者数	-786



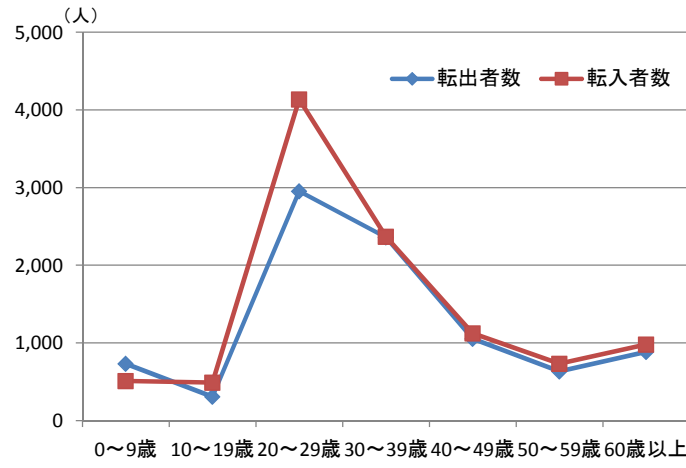
神戸市東灘区

転入者数	9,790
転出者数	9,974
転入者数-転出者数	-184



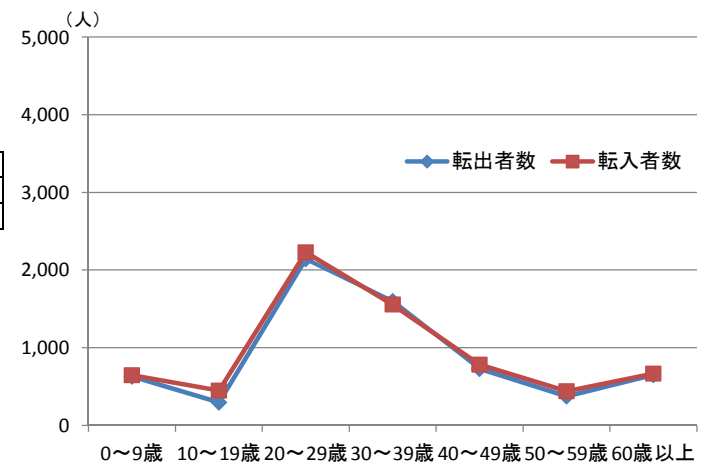
神戸中央区

転入者数	10,340
転出者数	8,920
転入者数-転出者数	1,420



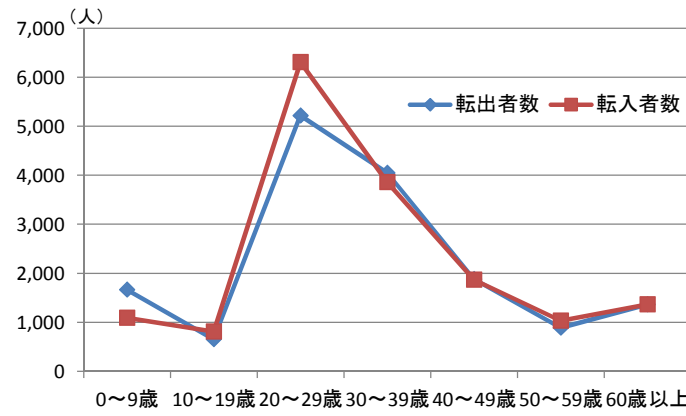
神戸市灘区

転入者数	6,761
転出者数	6,412
転入者数-転出者数	349



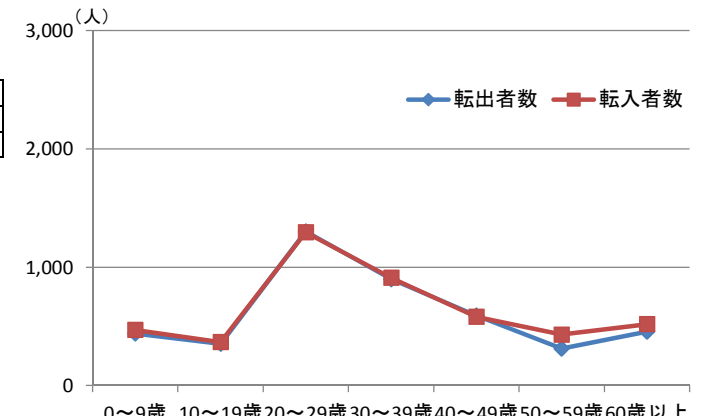
尼崎市

転入者数	16,323
転出者数	15,713
転入者数-転出者数	610



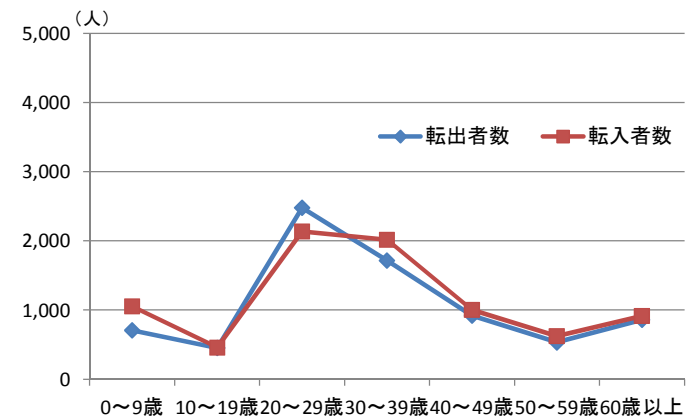
芦屋市

転入者数	4,569
転出者数	4,353
転入者数-転出者数	216



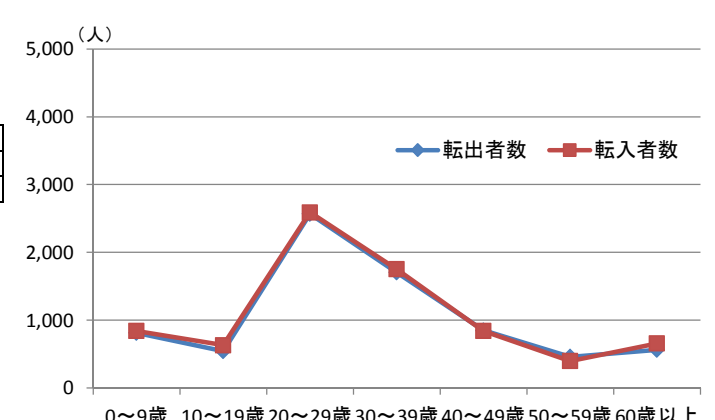
宝塚市

転入者数	8,203
転出者数	7,664
転入者数-転出者数	539



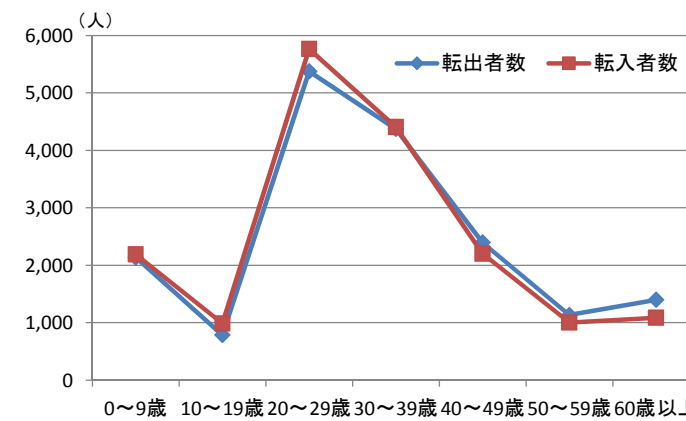
伊丹市

転入者数	7,698
転出者数	7,495
転入者数-転出者数	203



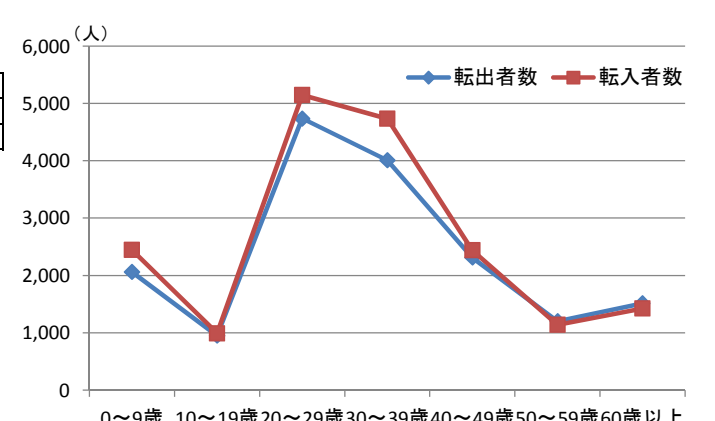
吹田市

転入者数	17,625
転出者数	17,587
転入者数-転出者数	38



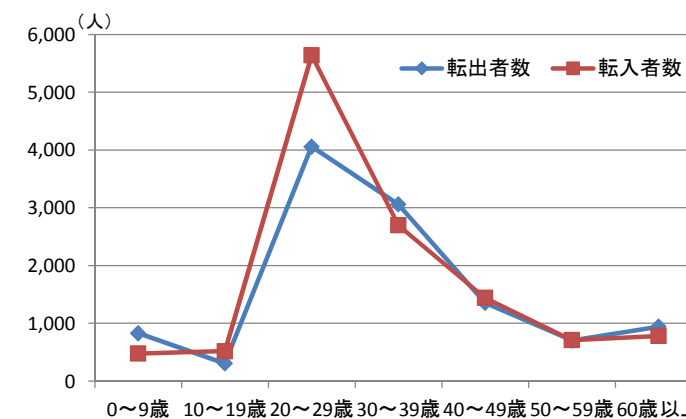
豊中市

転入者数	18,318
転出者数	16,770
転入者数-転出者数	1,548



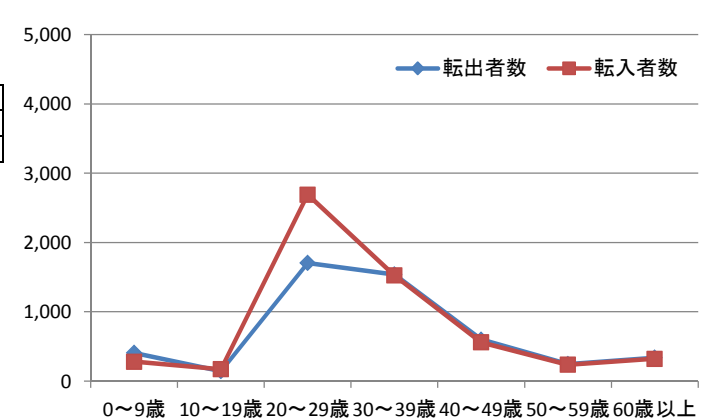
大阪市淀川区

転入者数	12,262
転出者数	11,241
転入者数-転出者数	1,021



大阪市福島区

転入者数	5,772
転出者数	4,964
転入者数-転出者数	808



※備考 転入者数-転出者数 黒字:転入超過
赤字(マイナス表記):転出超過

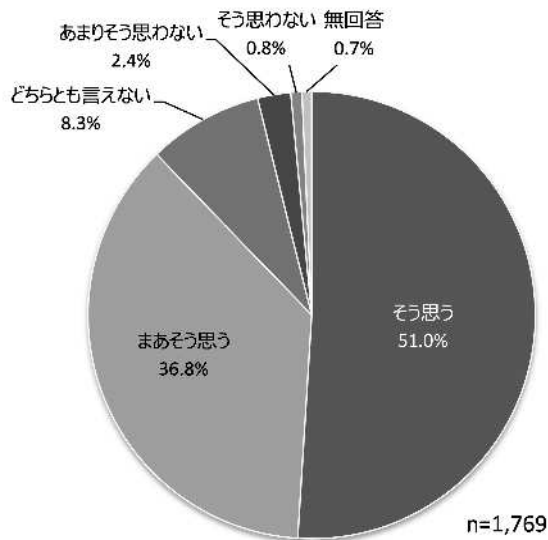
出典:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)

市民アンケート調査結果

(単純集計・クロス集計)

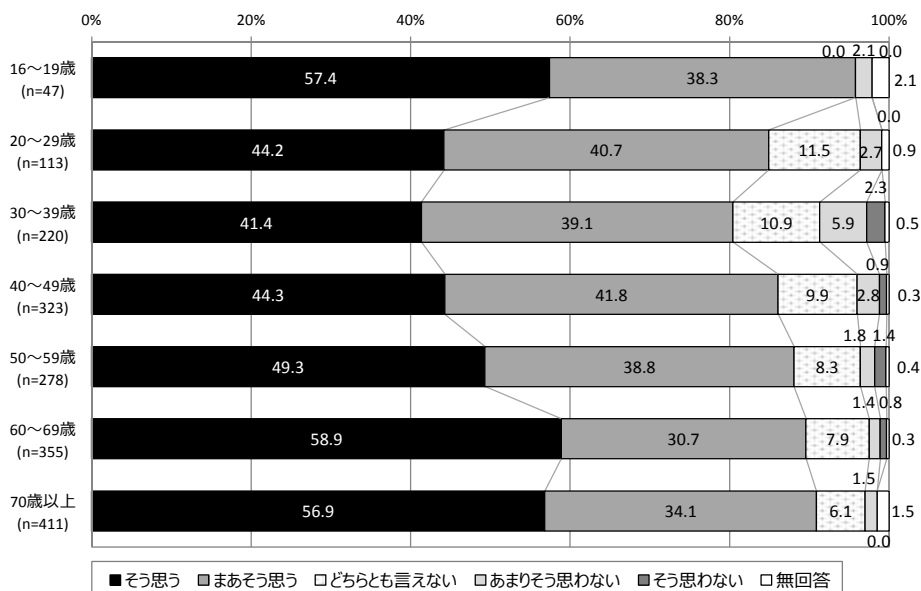
問1 西宮市に愛着を感じますか。それぞれあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

「そう思う（51.0%）」が最も多く、次いで「まあそう思う（36.8%）」が続いており、全体の約9割が西宮市に対して愛着を持っていると回答しています。



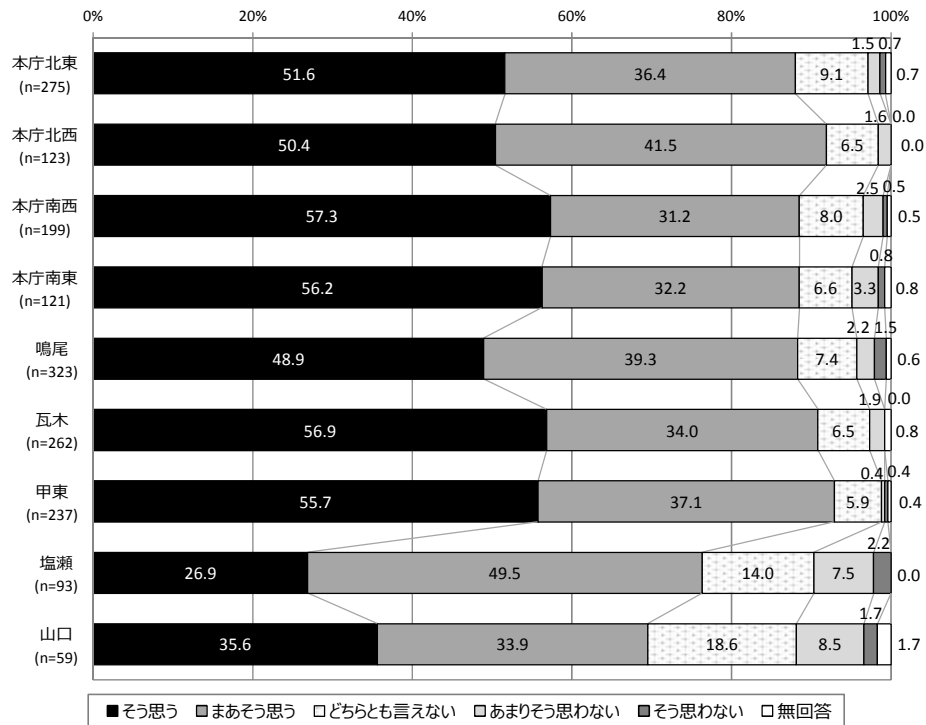
<年齢別>

30歳代で「そう思う（30歳代：41.4%）」の比率が低くなっています。



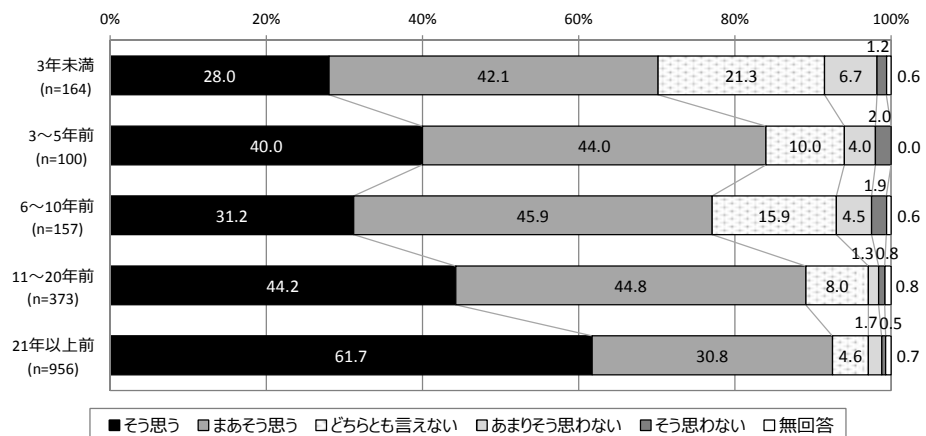
<地域別>

塩瀬と山口で「そう思う（塩瀬：26.9%、山口：35.6%）」の比率が低くなっています。



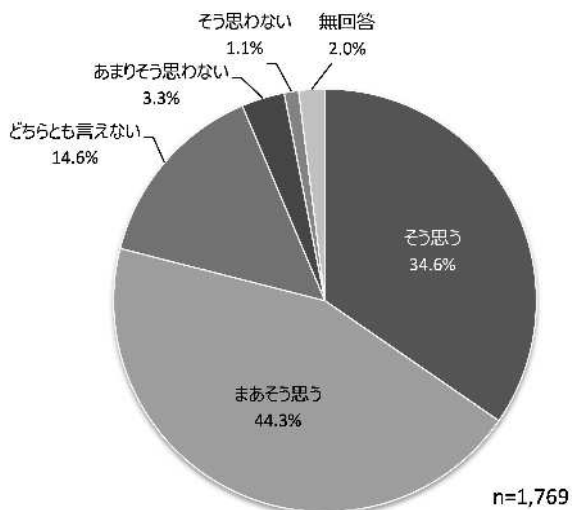
<居住開始時期別>

「21年以上前」から居住している人で「そう思う（61.7%）」の比率が高くなっています。



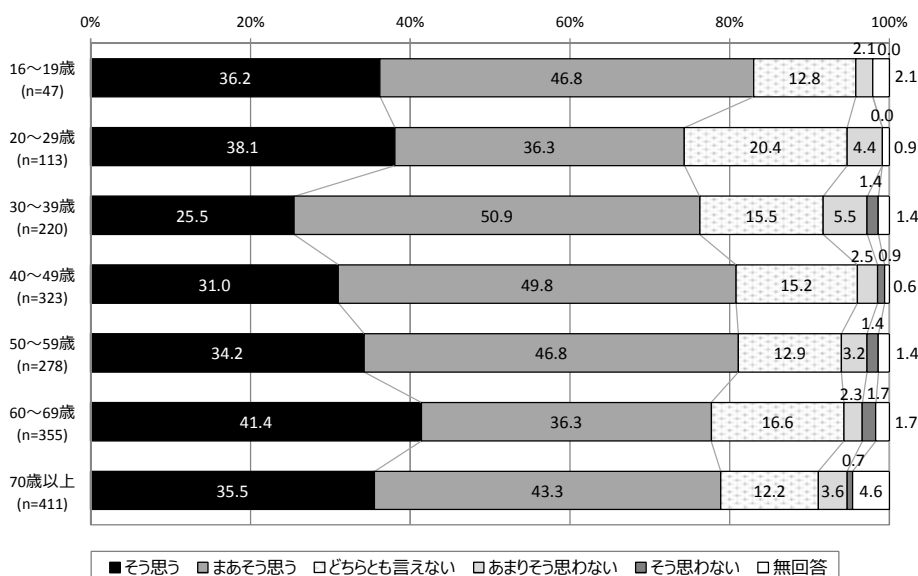
問2 市外の人にまちの魅力を自慢できますか。それぞれあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

「まあそう思う（44.3%）」が最も多く、次いで「そう思う（34.6%）」が続いており、全体の約8割がまちの魅力を自慢できると回答しています。



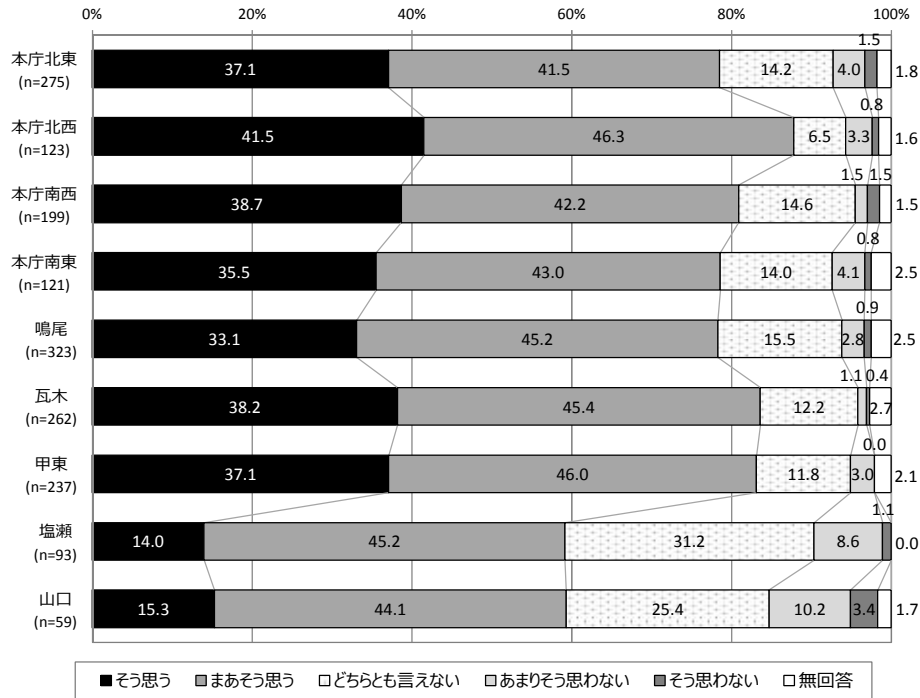
<年齢別>

60歳代で「そう思う」の比率が高く（41.4%）なっていますが、30歳代で比率が低く（25.5%）なっています。



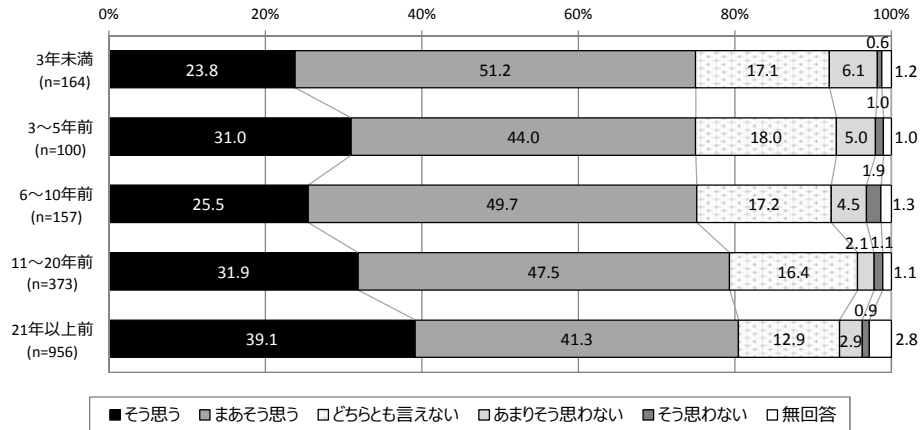
<地域別>

塩瀬と山口で「そう思う（塩瀬：14.0%、山口：15.3%）」の比率が低くなっています。



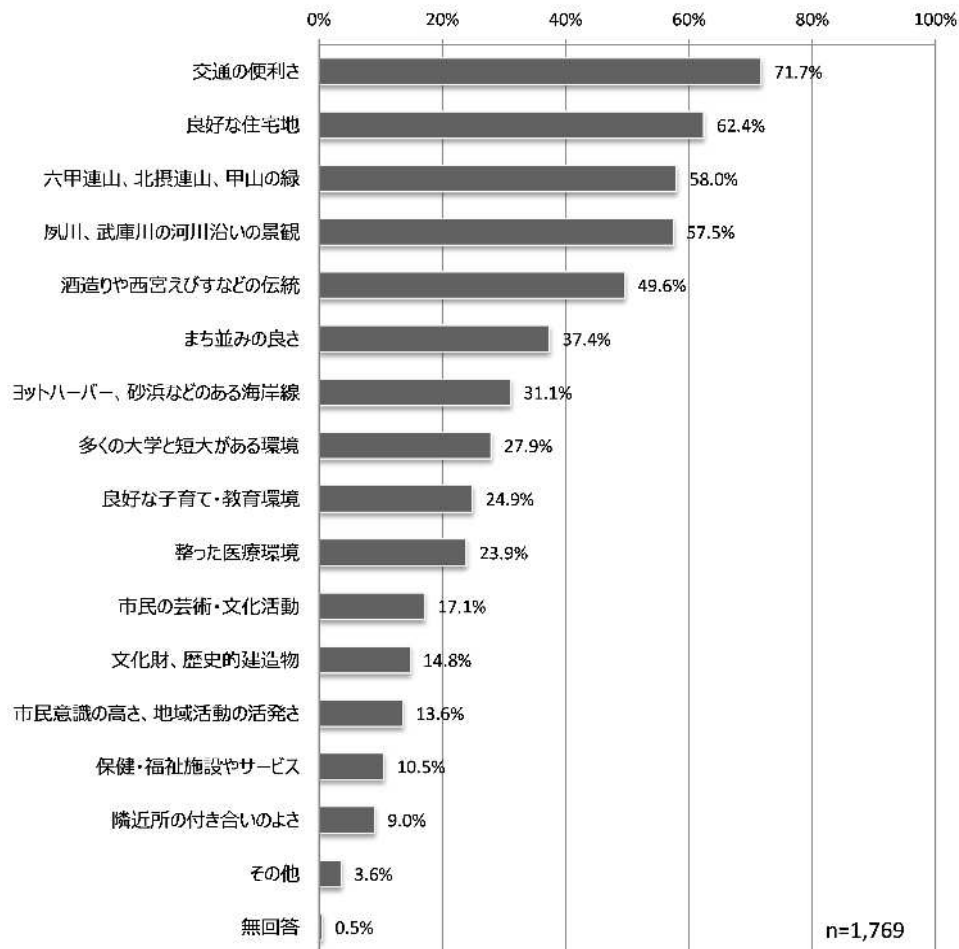
<居住開始時期別>

「21年以上前」から居住している人で「そう思う（39.1%）」の比率が高くなっています。



問3 あなたは、西宮市の良さはどんなことだと思われませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「交通の便利さ（71.7%）」が最も多く、次いで「良好な住宅地（62.4%）」が多くなっています。また、「六甲連山、北摂連山、甲山の緑（58.0%）」、「夙川、武庫川の河川沿いの景観（57.5%）」が3位、4位で約6割を占めており、西宮市の良さは、生活の利便性と自然環境がうまく整った生活環境であるといえます。



<年齢別>

20歳代で「まち並みの良さ（54.0%）」、
 30歳代で「良好な子育て・教育環境（32.3%）」、
 60歳代以上で「多くの大学と短大がある環境（60歳代：36.1%、70歳以上：40.6%）」
 70歳以上で「整った医療環境（39.2%）」、
 の比率が高くなっています。

<地域別>

本庁北西で「夙川、武庫川の河川沿いの景観（85.4%）」、
 本庁南西で「ヨットハーバー、砂浜などのある海岸線（51.8%）」と「酒造りや西宮えびすなどの伝統（63.3%）」、
 鳴尾で「整った医療環境（35.3%）」、
 甲東で「良好な住宅地（75.5%）」と「多くの大学と短大がある環境（42.6%）」の比率が高くなっています。
 また、塩瀬で「良好な子育て・教育環境（9.7%）」、
 塩瀬と山口で「交通の便利さ（塩瀬：31.2%、山口：10.2%）」と「整った医療環境（塩瀬：5.4%、山口：6.8%）」の比率が低くなっています。

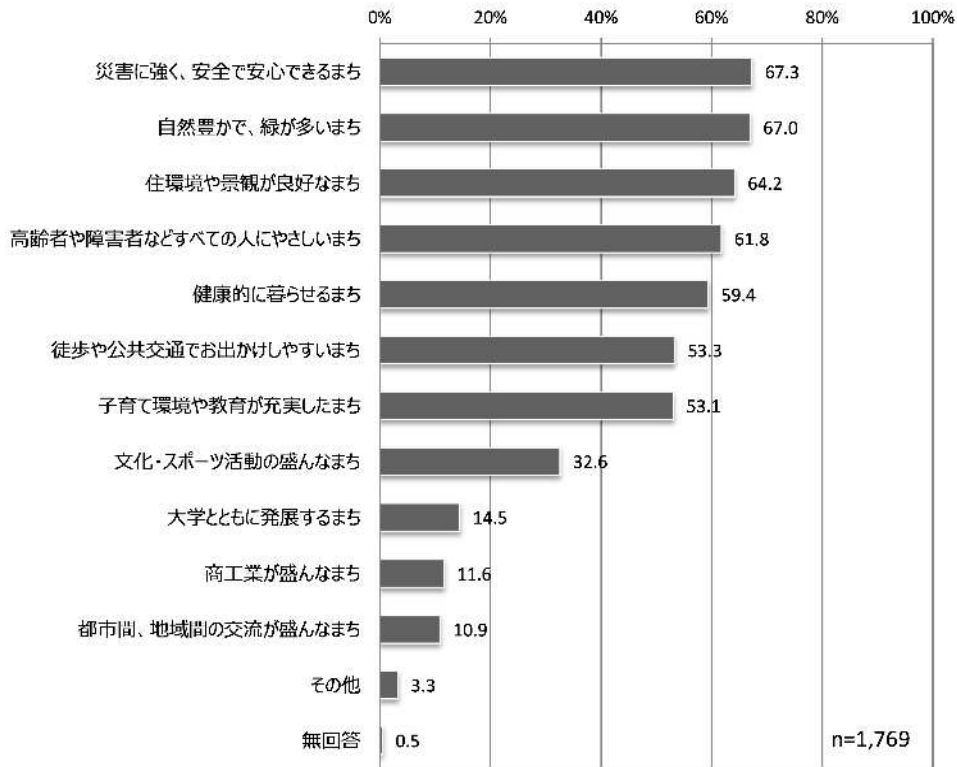
<居住開始時期別>

居住期間が「3年未満」の人で「良好な子育て・教育環境（31.1%）」の比率が高くなっています。

	良好な住宅地	まち並みの良さ	甲山の緑	夙川、武庫川の河川沿いの景観	砂浜などのある海岸線	ヨットハーバー、ヨットなどのある海岸線	文化財、歴史的建造物	市民の芸術・文化活動	西宮えびすなどの伝統	酒造りや西宮えびすなどの伝統	多くの大学と短大がある環境	交通の便利さ	地域意識の高さ、市民活動の活発さ	隣近所の付き合いの良さ	整った医療環境	保健・福祉施設やサービス	良好な子育て・教育環境	その他	無回答
合計(n=1,769)	62.4%	37.4%	58.0%	57.5%	31.1%	14.8%	17.1%	49.6%	27.9%	71.7%	13.6%	9.0%	23.9%	10.5%	24.9%	3.6%	0.5%		
男(n=698)	60.9%	37.5%	58.7%	58.2%	29.4%	14.8%	15.2%	50.0%	27.9%	73.8%	12.0%	8.2%	26.9%	11.7%	23.2%	5.4%	0.3%		
女(n=1,049)	63.8%	37.6%	57.6%	57.4%	32.2%	14.8%	18.5%	49.4%	28.0%	70.6%	14.8%	9.6%	22.1%	9.7%	26.0%	2.5%	0.6%		
その他又は答えたくない(n=14)	50.0%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	64.3%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	21.4%	-	-		
16～19歳(n=47)	51.1%	40.4%	44.7%	34.0%	23.4%	8.5%	4.3%	25.5%	12.8%	68.1%	10.6%	8.5%	14.9%	8.5%	8.5%	2.1%	-		
20～29歳(n=113)	66.4%	54.0%	36.3%	54.0%	22.1%	15.9%	6.2%	44.2%	22.1%	70.8%	4.4%	8.8%	14.2%	7.1%	23.0%	1.8%	-		
30～39歳(n=220)	59.5%	37.3%	43.6%	50.9%	26.4%	10.9%	5.5%	42.7%	16.8%	71.4%	7.7%	5.9%	16.8%	6.8%	32.3%	2.3%	0.9%		
40～49歳(n=323)	64.1%	36.2%	58.8%	51.1%	37.2%	12.1%	10.2%	47.7%	19.8%	74.0%	9.9%	5.6%	14.9%	3.7%	26.9%	4.6%	-		
50～59歳(n=278)	60.4%	37.4%	56.8%	61.2%	32.7%	10.8%	14.4%	54.7%	22.3%	69.1%	11.9%	5.0%	19.1%	5.0%	27.0%	5.0%	-		
60～69歳(n=355)	65.4%	35.2%	67.6%	65.4%	33.2%	21.7%	22.0%	52.4%	36.1%	74.4%	15.8%	12.7%	26.2%	13.5%	23.7%	2.3%	0.6%		
70歳以上(n=411)	62.3%	35.8%	65.0%	60.8%	29.0%	16.3%	30.4%	52.6%	40.6%	70.6%	21.7%	12.9%	39.2%	20.2%	21.7%	4.6%	1.0%		
本庁北東(n=275)	63.6%	40.7%	63.6%	63.3%	30.2%	14.9%	19.3%	41.8%	26.9%	76.0%	15.3%	5.8%	23.6%	9.8%	28.7%	2.2%	0.4%		
本庁北西(n=123)	74.0%	48.0%	69.1%	85.4%	30.1%	11.4%	17.1%	45.5%	26.0%	69.1%	22.0%	5.7%	16.3%	6.5%	22.0%	5.7%	-		
本庁南西(n=199)	53.8%	35.2%	56.3%	67.3%	51.8%	15.1%	17.1%	63.3%	22.1%	76.9%	13.6%	8.0%	29.6%	12.1%	18.6%	2.0%	-		
本庁南東(n=121)	55.4%	40.5%	50.4%	52.9%	38.0%	22.3%	16.5%	53.7%	25.6%	79.3%	14.0%	13.2%	32.2%	17.4%	28.9%	5.0%	0.8%		
鳴尾(n=323)	56.0%	29.4%	51.1%	51.4%	35.3%	12.1%	14.9%	53.9%	24.1%	77.7%	11.5%	11.1%	35.3%	11.5%	23.8%	4.0%	0.6%		
瓦木(n=262)	68.3%	46.6%	52.3%	54.6%	28.6%	16.8%	19.8%	48.1%	32.1%	85.9%	15.3%	8.8%	21.8%	10.7%	29.4%	4.2%	-		
甲東(n=237)	75.5%	40.1%	66.2%	53.6%	21.5%	13.9%	21.1%	48.9%	42.6%	72.2%	11.4%	10.1%	18.1%	8.9%	30.4%	3.4%	-		
塩瀬(n=93)	53.8%	30.1%	62.4%	41.9%	17.2%	11.8%	9.7%	48.4%	22.6%	31.2%	10.8%	10.8%	5.4%	7.5%	9.7%	3.2%	-		
山口(n=59)	59.3%	20.3%	69.5%	35.6%	5.1%	18.6%	10.2%	39.0%	18.6%	10.2%	10.2%	5.1%	6.8%	10.2%	18.6%	5.1%	1.7%		
3年未満(n=164)	63.4%	43.3%	43.3%	53.0%	29.9%	14.0%	14.0%	38.4%	20.7%	61.0%	11.6%	5.5%	13.4%	6.1%	31.1%	1.8%	0.6%		
3～5年前(n=100)	64.0%	43.0%	51.0%	58.0%	23.0%	11.0%	7.0%	47.0%	21.0%	68.0%	6.0%	7.0%	21.0%	7.0%	27.0%	7.0%	-		
6～10年前(n=157)	54.8%	35.0%	51.0%	50.3%	31.2%	8.9%	7.0%	38.2%	17.8%	70.7%	8.9%	5.1%	14.6%	9.6%	22.9%	2.5%	0.6%		
11～20年前(n=373)	60.6%	39.1%	54.4%	52.3%	31.4%	12.9%	15.5%	46.1%	23.6%	71.3%	13.4%	6.7%	19.3%	6.2%	22.3%	4.3%	0.3%		
21年以上前(n=956)	64.0%	36.0%	64.1%	61.5%	32.0%	17.2%	21.0%	54.6%	33.3%	74.4%	15.7%	11.4%	29.4%	13.6%	25.1%	3.6%	0.4%		

問4 将来の都市像として、西宮市をどんなまちにつくり育てていくのが良いと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「災害に強く、安全で安心できるまち（67.3%）」と「自然豊かで、緑が多いまち（67.0%）」がほぼ同率で1位と2位を占めています。



<年齢別>

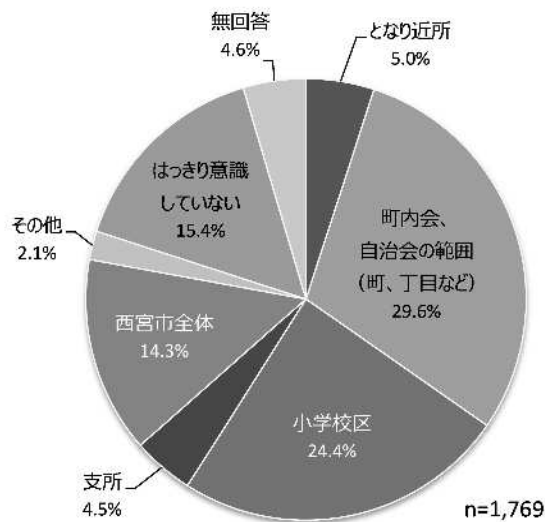
20歳代～40歳代で「子育て環境や教育が充実したまち（20歳代：68.1%、30歳代：76.4%、40歳代：57.6%）」、

60歳代で「高齢者や障害者などすべての人にやさしいまち（75.2%）」の比率が高くなっています。

	住環境や景観が良好なまち	自然豊かで、緑が多いまち	災害に強く、安全で安心できるまち	文化・スポーツ活動の盛んなまち	商工業が盛んなまち	大学とともに発展するまち	徒歩や公共交通でお出かけしやすいまち	都市間、地域間の交流が盛んなまち	高齢者や障害者などすべての人にやさしいまち	健康的に暮らせるまち	子育て環境や教育が充実したまち	その他	無回答
合計(n=1,769)	64.2%	67.0%	67.3%	32.6%	11.6%	14.5%	53.3%	10.9%	61.8%	59.4%	53.1%	3.3%	0.5%
男(n=698)	66.5%	66.2%	62.6%	36.4%	12.5%	15.3%	52.4%	10.7%	58.0%	58.6%	50.4%	3.0%	0.4%
女(n=1,049)	63.1%	67.8%	70.4%	30.4%	10.8%	13.8%	54.1%	11.2%	64.4%	60.1%	55.2%	3.4%	0.5%
その他又は答えたくない(n=14)	42.9%	57.1%	57.1%	14.3%	14.3%	21.4%	50.0%	-	42.9%	42.9%	28.6%	7.1%	-
16～19歳(n=47)	61.7%	44.7%	59.6%	23.4%	4.3%	10.6%	42.6%	8.5%	31.9%	42.6%	25.5%	2.1%	-
20～29歳(n=113)	64.6%	56.6%	63.7%	23.9%	8.0%	9.7%	57.5%	13.3%	43.4%	45.1%	68.1%	0.9%	-
30～39歳(n=220)	60.5%	61.8%	60.5%	24.1%	11.8%	10.9%	54.5%	5.9%	46.8%	53.2%	76.4%	5.0%	-
40～49歳(n=323)	61.0%	63.2%	65.6%	31.6%	10.5%	9.6%	47.4%	8.0%	52.6%	52.0%	57.6%	3.7%	0.3%
50～59歳(n=278)	62.6%	65.8%	67.3%	31.3%	10.1%	13.3%	50.4%	9.0%	65.1%	61.5%	42.1%	4.0%	0.4%
60～69歳(n=355)	66.5%	72.4%	67.3%	37.7%	12.4%	16.1%	56.1%	11.0%	75.2%	62.0%	54.9%	3.1%	0.3%
70歳以上(n=411)	68.1%	74.2%	74.0%	38.4%	14.1%	21.7%	57.9%	16.8%	71.8%	70.1%	42.8%	2.7%	1.2%
本庁北東(n=275)	70.5%	67.3%	63.3%	32.7%	12.0%	15.6%	50.9%	9.5%	57.8%	56.7%	58.2%	3.3%	0.7%
本庁北西(n=123)	74.0%	74.0%	65.9%	30.1%	9.8%	12.2%	54.5%	10.6%	58.5%	56.9%	53.7%	5.7%	0.8%
本庁南西(n=199)	65.3%	65.8%	69.8%	34.7%	15.6%	11.6%	57.8%	10.6%	59.8%	59.8%	46.2%	1.0%	-
本庁南東(n=121)	52.9%	62.0%	73.6%	36.4%	12.4%	12.4%	50.4%	10.7%	56.2%	62.0%	49.6%	5.0%	0.8%
鳴尾(n=323)	59.1%	63.5%	68.4%	30.0%	10.8%	13.9%	52.3%	12.1%	64.4%	63.5%	55.1%	4.0%	0.3%
瓦木(n=262)	69.1%	69.8%	71.0%	36.3%	12.2%	17.6%	62.2%	11.8%	64.9%	60.7%	58.0%	3.1%	-
甲東(n=237)	67.9%	69.2%	67.5%	40.1%	11.8%	17.3%	49.8%	12.2%	70.0%	58.2%	59.9%	3.4%	0.4%
塩瀬(n=93)	63.4%	68.8%	60.2%	26.9%	5.4%	12.9%	52.7%	11.8%	59.1%	61.3%	36.6%	3.2%	-
山口(n=59)	49.2%	67.8%	57.6%	15.3%	10.2%	13.6%	50.8%	5.1%	61.0%	50.8%	44.1%	1.7%	-
3年未満(n=164)	65.9%	64.0%	58.5%	29.3%	12.2%	12.8%	51.8%	12.8%	47.6%	54.3%	62.8%	3.0%	-
3～5年前(n=100)	61.0%	66.0%	69.0%	24.0%	12.0%	16.0%	47.0%	9.0%	46.0%	50.0%	66.0%	5.0%	1.0%
6～10年前(n=157)	66.2%	62.4%	61.8%	25.5%	8.9%	10.8%	52.9%	4.5%	54.8%	51.6%	55.4%	4.5%	-
11～20年前(n=373)	58.7%	60.1%	66.5%	30.3%	9.7%	11.5%	50.1%	8.8%	56.3%	57.9%	50.1%	4.6%	0.5%
21年以上前(n=956)	66.3%	71.3%	69.8%	36.2%	12.4%	16.5%	56.0%	12.8%	69.2%	63.1%	51.0%	2.5%	0.4%

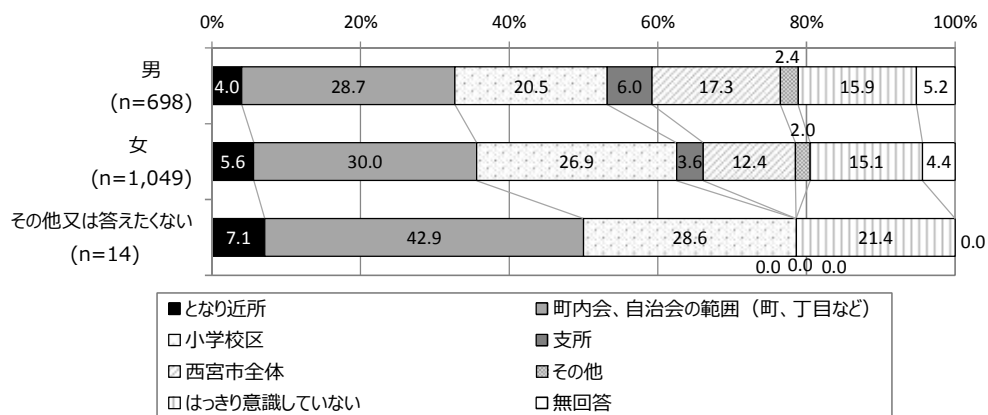
問5 「地域」として意識する範囲は、次のどれですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

「町内会、自治会の範囲（町、丁目など）（29.6%）」が最も多く、次いで「小学校区（24.4%）」が多くなっています。



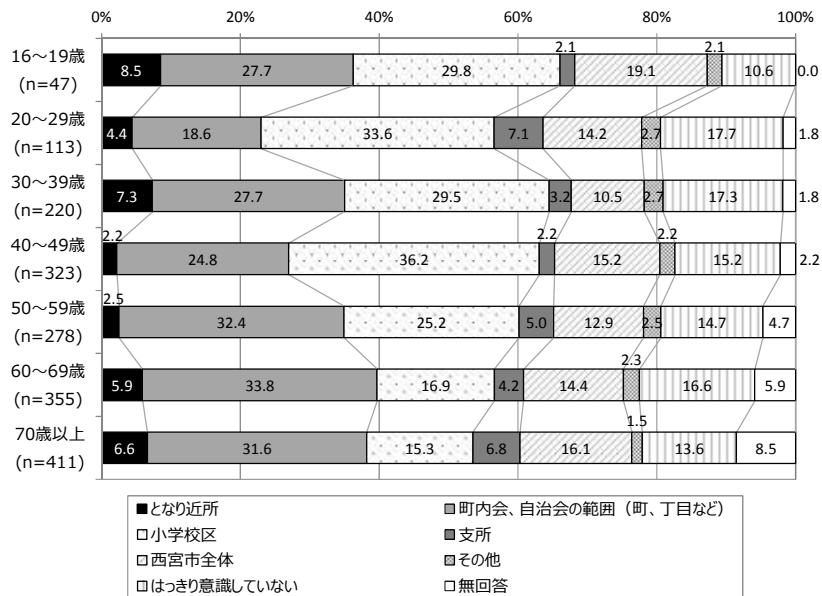
<男女別>

女性で「小学校区（26.9%）」の比率が高くなっています。

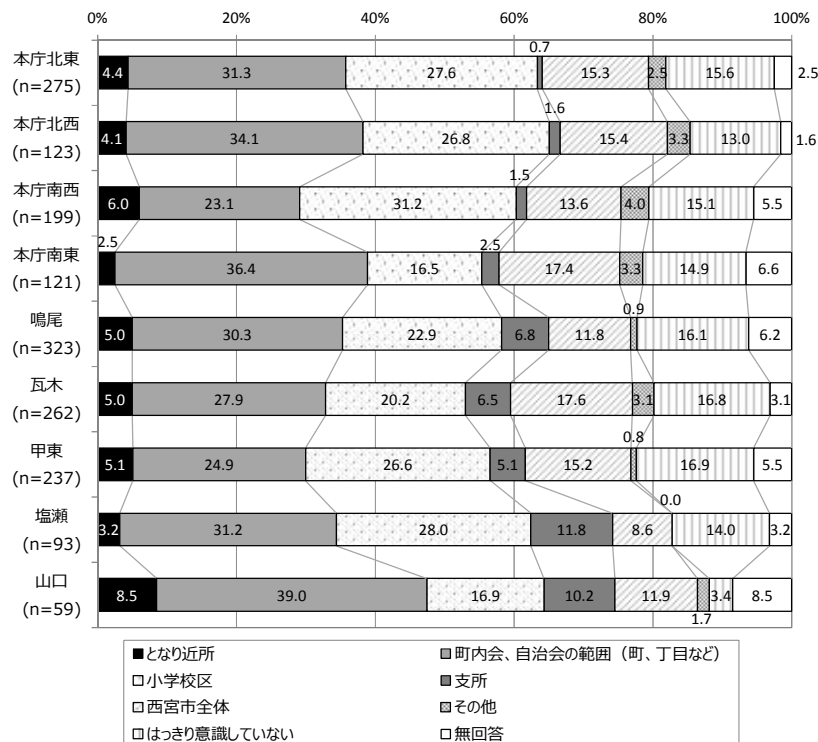


<年齢別>

20歳代と40歳代で「小学校区（20歳代：33.6%、40歳代：36.2%）」、60歳代で「町内会、自治会の範囲（33.8%）」の比率が高くなっています。

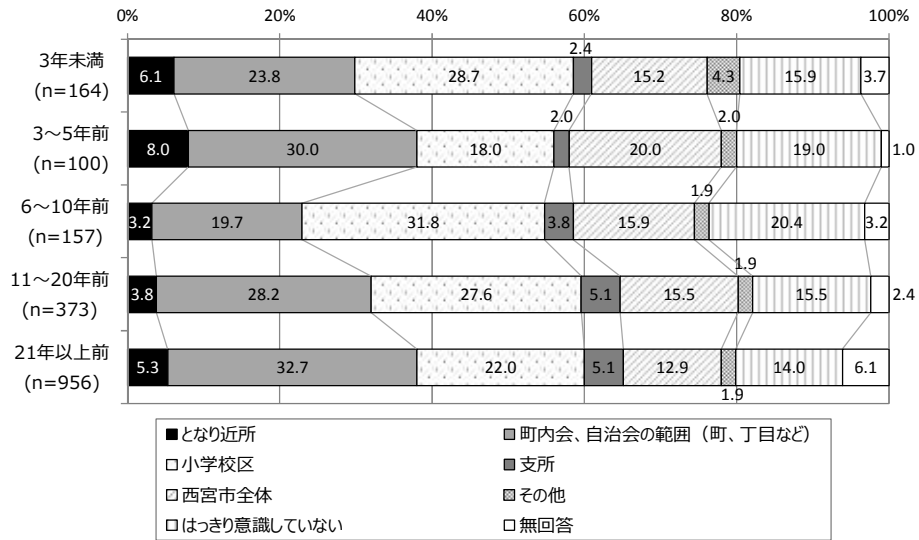


<地域別>



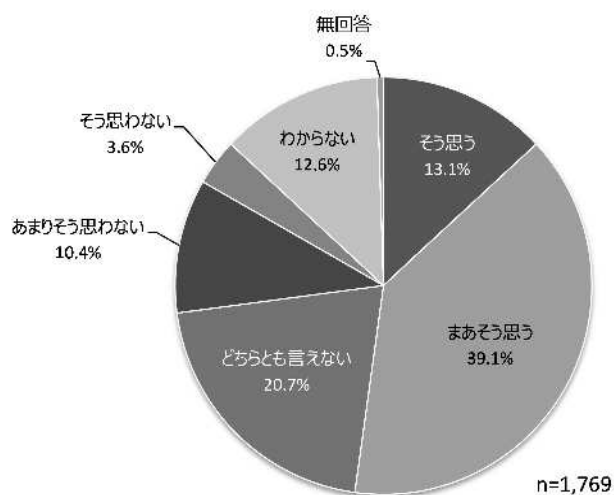
<居住開始時期別>

「6～10年前」から居住している人で「小学校区（31.8%）」の比率が高くなっています。



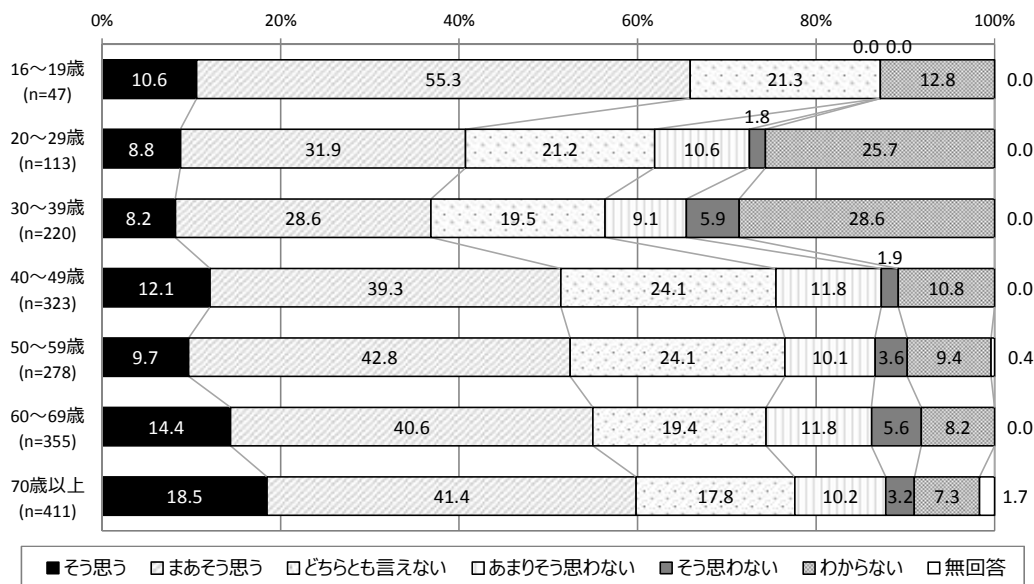
問6 お住まいの地域は、自治会や小学校区などでの地域活動が盛んであると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

「まあそう思う（39.1%）」が最も多く、次いで「どちらとも言えない（20.7%）」が多くなっています。



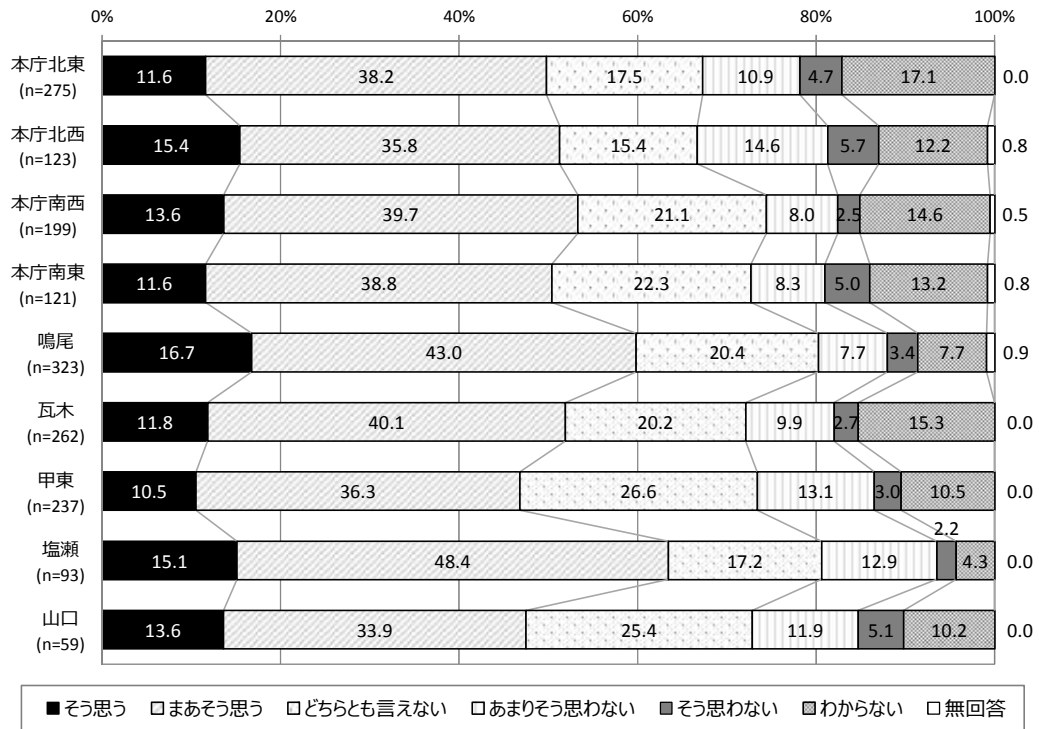
<年齢別>

30歳代で「そう思う（8.2%）」の比率が低くなっています。



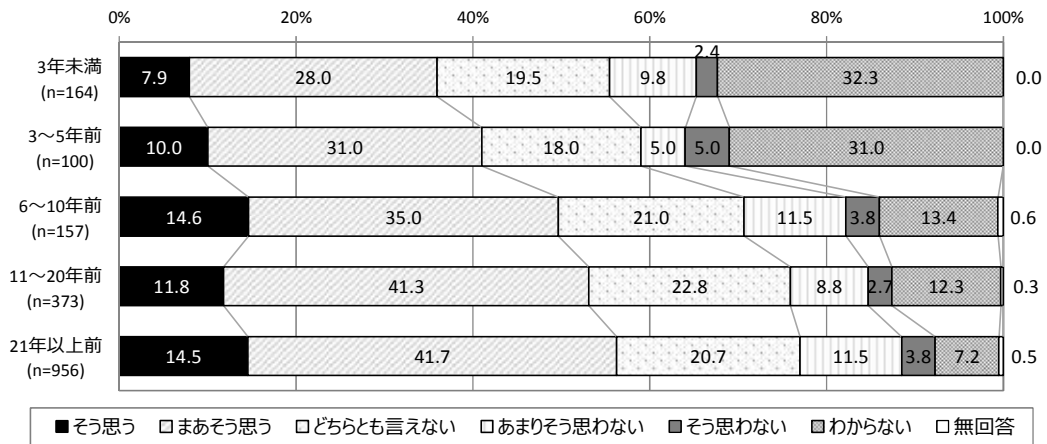
<地域別>

鳴尾で「そう思う（16.7%）」の比率が高くなっています。



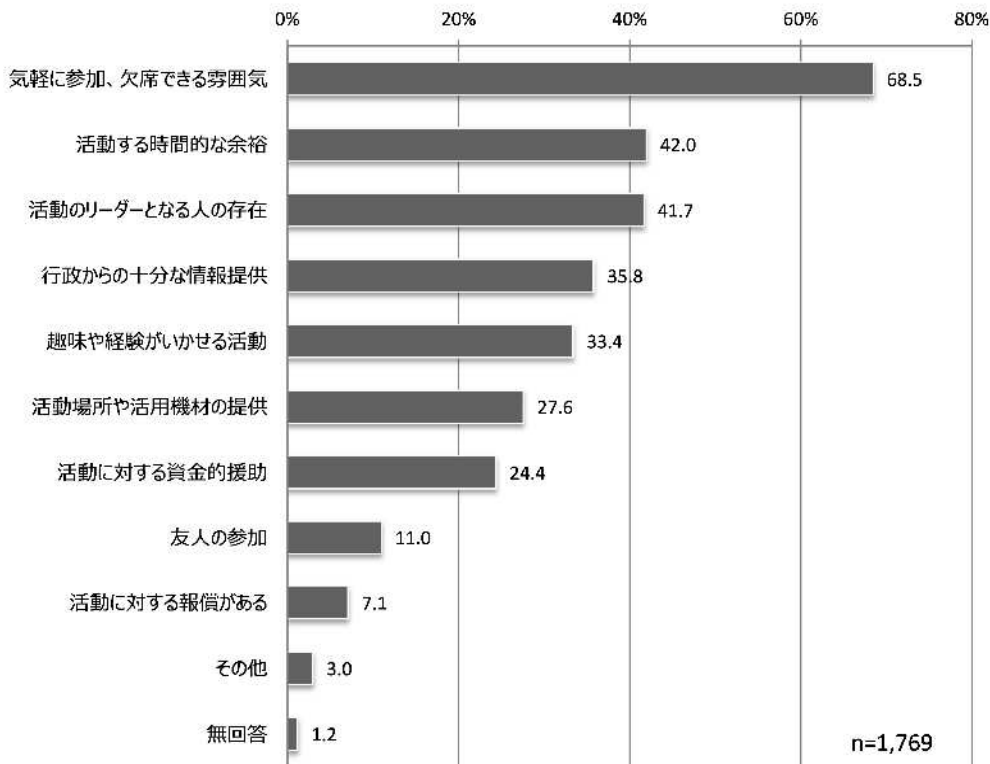
<居住開始時期別>

「21年以上前」から居住している人で「そう思う」の比率が高く（14.5%）なっていますが、居住期間「3年未満」の人で比率が低く（7.9%）なっています。



問7 地域の活動が盛んになるには何が重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「気軽に参加、欠席できる雰囲気（68.5%）」が最も多く、次いで「活動する時間的な余裕（42.0%）」と「活動のリーダーとなる人の存在（41.7%）」が同程度で続いています。



<年齢別>

60歳代以上で「活動のリーダーとなる人の存在（60歳代：50.4%、70歳以上：51.1%）」の比率が高くなっています。

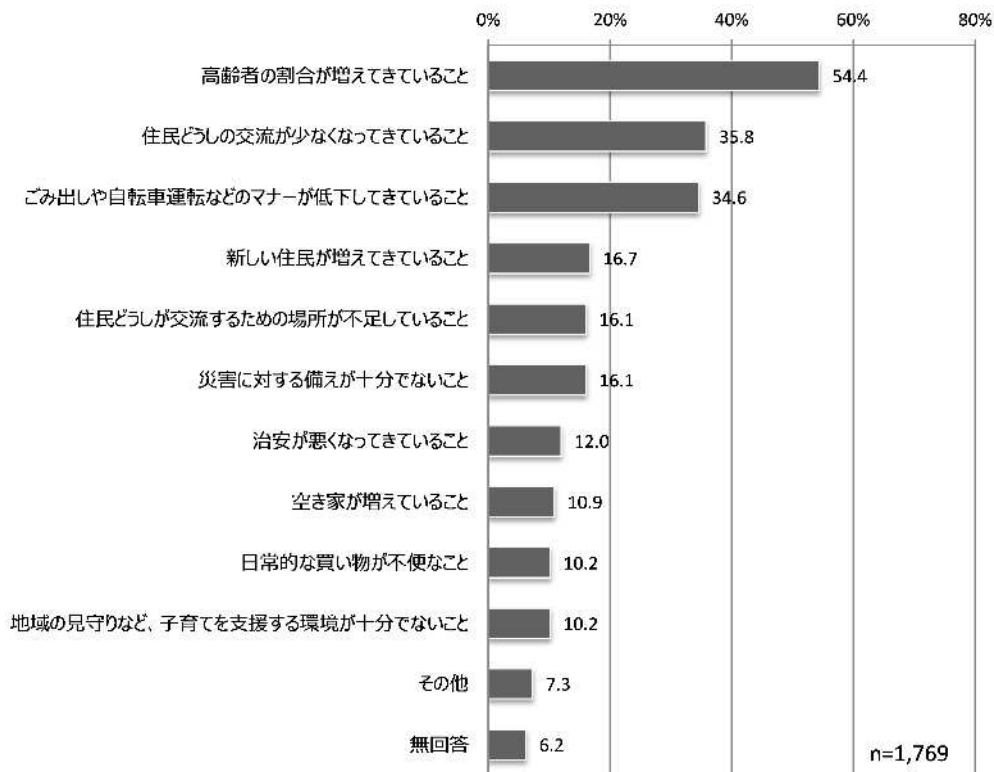
<居住開始時期別>

「3～5年前」から居住している人で「行政からの十分な情報提供（46.0%）」、「6～10年前」から居住している人で「活動する時間的な余裕（53.5%）」の比率が高くなっています。

	友人の参加	趣味や経験がいかせる活動	活動する時間的な余裕	活動に対する報償がある	活動に対する資金的援助	行政からの十分な情報提供	活動のリーダーとなる人の存在	活動場所や活用機材の提供	雰囲気に参加、欠席できる	その他	無回答
合計(n=1,769)	11.0%	33.4%	42.0%	7.1%	24.4%	35.8%	41.7%	27.6%	68.5%	3.0%	1.2%
男(n=698)	11.0%	39.8%	43.1%	7.4%	25.8%	34.4%	41.1%	27.1%	68.5%	3.0%	1.0%
女(n=1,049)	11.1%	29.4%	41.8%	6.7%	23.4%	36.9%	42.3%	27.7%	68.4%	3.0%	1.4%
その他又は答えたくない(n=14)	-	14.3%	28.6%	14.3%	21.4%	21.4%	7.1%	35.7%	71.4%	7.1%	-
16～19歳(n=47)	21.3%	34.0%	46.8%	17.0%	17.0%	8.5%	12.8%	12.8%	70.2%	2.1%	-
20～29歳(n=113)	10.6%	32.7%	46.0%	8.8%	30.1%	36.3%	22.1%	26.5%	75.2%	1.8%	-
30～39歳(n=220)	8.6%	28.2%	51.8%	12.3%	25.0%	39.1%	25.0%	27.3%	71.8%	4.5%	-
40～49歳(n=323)	10.2%	28.8%	52.3%	10.8%	25.1%	31.6%	40.2%	28.8%	70.0%	4.0%	0.3%
50～59歳(n=278)	8.3%	29.1%	47.1%	6.1%	25.9%	38.8%	43.5%	24.1%	65.8%	2.5%	1.1%
60～69歳(n=355)	10.7%	38.3%	37.7%	3.4%	24.8%	38.9%	50.4%	36.9%	71.0%	2.8%	0.8%
70歳以上(n=411)	14.1%	38.9%	29.0%	3.4%	21.2%	36.0%	51.1%	23.1%	63.0%	1.9%	3.6%
本庁北東(n=275)	12.4%	29.5%	40.4%	5.5%	17.8%	35.6%	39.6%	28.0%	67.6%	2.5%	0.4%
本庁北西(n=123)	7.3%	36.6%	40.7%	5.7%	21.1%	45.5%	39.8%	26.0%	58.5%	1.6%	0.8%
本庁南西(n=199)	9.0%	32.7%	39.2%	6.5%	27.1%	38.7%	37.7%	27.1%	65.8%	4.0%	2.0%
本庁南東(n=121)	5.8%	29.8%	46.3%	8.3%	25.6%	34.7%	39.7%	28.9%	66.9%	4.1%	1.7%
鳴尾(n=323)	12.1%	37.8%	46.4%	8.0%	26.0%	33.4%	44.9%	26.3%	71.5%	3.1%	1.5%
瓦木(n=262)	13.0%	32.8%	42.0%	8.4%	27.1%	38.9%	45.4%	29.4%	71.4%	3.4%	1.1%
甲東(n=237)	12.2%	37.1%	44.7%	6.8%	27.4%	33.8%	45.1%	30.0%	72.6%	2.5%	0.4%
塩瀬(n=93)	9.7%	32.3%	44.1%	8.6%	21.5%	30.1%	43.0%	25.8%	68.8%	1.1%	-
山口(n=59)	6.8%	35.6%	32.2%	6.8%	27.1%	28.8%	42.4%	28.8%	62.7%	5.1%	3.4%
3年未満(n=164)	14.6%	28.7%	46.3%	8.5%	23.2%	36.0%	29.9%	26.8%	70.7%	4.9%	-
3～5年前(n=100)	5.0%	26.0%	42.0%	8.0%	22.0%	46.0%	32.0%	24.0%	61.0%	4.0%	1.0%
6～10年前(n=157)	8.3%	24.8%	53.5%	8.9%	22.9%	34.4%	38.9%	27.4%	72.0%	1.3%	0.6%
11～20年前(n=373)	8.6%	31.9%	41.6%	8.3%	24.1%	31.6%	35.1%	24.7%	70.0%	2.7%	0.8%
21年以上前(n=956)	12.3%	37.1%	39.6%	6.1%	25.2%	36.8%	48.1%	29.5%	67.8%	3.0%	1.4%

問8 お住まいの地域で問題や不安に感じていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「高齢者の割合が増えてきていること（54.4%）」が最も多く、次いで「住民どうしの交流が少なくなっていること（35.8%）」と「ごみ出しや自転車運転などのマナーが低下してきていること（34.6%）」が同程度で続いています。



<年齢別>

60歳代以上で「高齢者の割合が増えてきていること（60歳代：69.3%、70歳以上：66.9%）」の比率が高くなっています。

<地域別>

瓦木で「ごみ出しや自転車運転などのマナーが低下してきていること（44.3%）」の比率が高くなっています。

また、本庁北西で「住民どうしの交流が少なくなっていること（25.2%）」の比率が低くなっています。

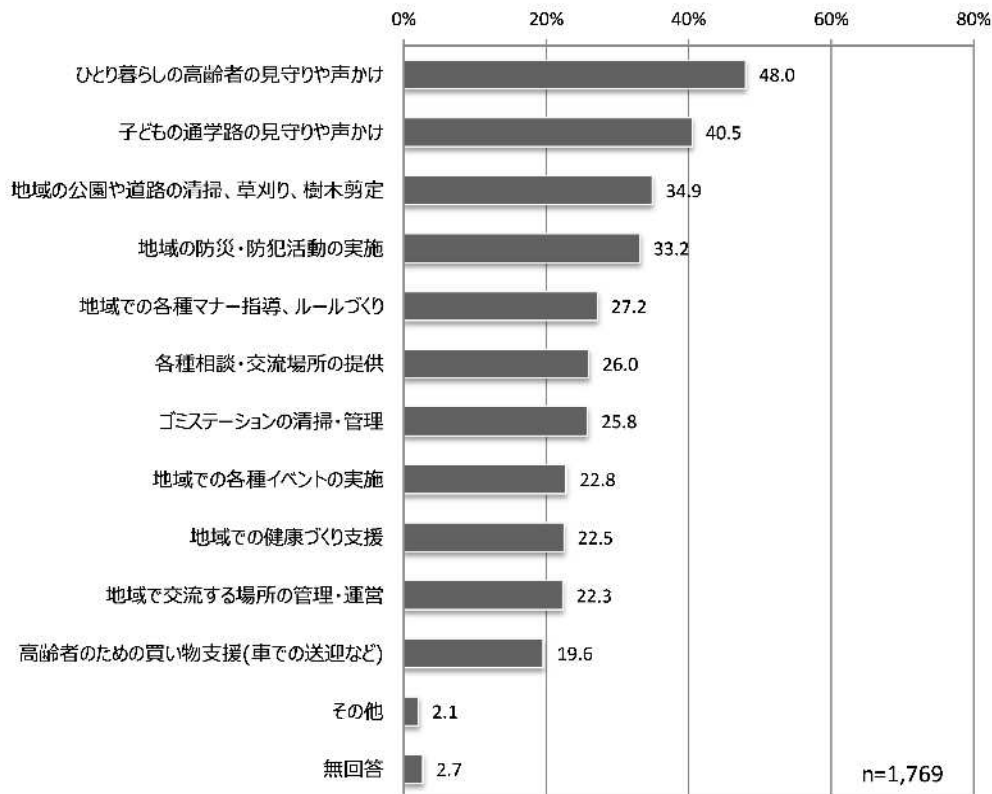
<居住開始時期別>

「21年以上前」から居住している人で「住民どうしの交流が少なくなってきていること(42.7%)」と「高齢者の割合が増えてきていること(64.7%)」の比率が高くなっています。

	住民どうしの交流が少なくなっていること	住民どうしが交流するための場が不足していること	高齢者の割合が増えていること	新しい住民が増えてきていること	ごみ出しや自転車運転などのマナーが低下してきていること	空き家が増えていること	治安が悪くなっていること	災害に対する備えが十分でないこと	日常的な買い物に不便なこと	地域の見守りなど、子育てを支援する環境が十分でないこと	その他	無回答
合計(n=1,769)	35.8%	16.1%	54.4%	16.7%	34.6%	10.9%	12.0%	16.1%	10.2%	10.2%	7.3%	6.2%
男(n=698)	37.4%	19.1%	56.2%	18.3%	36.1%	10.7%	12.5%	17.9%	9.6%	12.2%	5.6%	4.7%
女(n=1,049)	35.2%	14.3%	53.2%	15.7%	33.6%	11.0%	11.5%	14.8%	10.4%	9.2%	8.4%	7.1%
その他又は答えたくない(n=14)	7.1%	-	57.1%	14.3%	50.0%	7.1%	21.4%	21.4%	14.3%	-	21.4%	7.1%
16～19歳(n=47)	19.1%	17.0%	29.8%	6.4%	27.7%	8.5%	21.3%	6.4%	6.4%	2.1%	6.4%	14.9%
20～29歳(n=113)	28.3%	16.8%	36.3%	14.2%	32.7%	2.7%	13.3%	14.2%	10.6%	8.8%	6.2%	7.1%
30～39歳(n=220)	23.2%	15.9%	33.6%	13.6%	35.0%	10.0%	15.0%	15.5%	9.5%	17.7%	12.7%	8.2%
40～49歳(n=323)	33.1%	14.6%	43.0%	15.8%	35.0%	7.1%	16.1%	16.7%	7.7%	11.5%	9.6%	7.4%
50～59歳(n=278)	38.5%	12.6%	58.6%	19.1%	38.5%	9.4%	12.6%	14.4%	10.8%	9.4%	9.0%	4.3%
60～69歳(n=355)	42.5%	16.3%	69.3%	17.2%	35.5%	15.8%	10.7%	19.4%	10.7%	9.6%	5.6%	3.4%
70歳以上(n=411)	42.3%	19.2%	66.9%	19.5%	32.4%	13.6%	6.3%	15.8%	11.7%	7.8%	3.4%	6.1%
本庁北東(n=275)	29.5%	18.9%	56.0%	18.2%	29.5%	9.8%	10.5%	13.8%	9.5%	9.5%	4.7%	8.4%
本庁北西(n=123)	25.2%	15.4%	52.0%	18.7%	31.7%	16.3%	8.9%	13.0%	12.2%	13.8%	13.8%	6.5%
本庁南西(n=199)	37.7%	15.6%	52.8%	19.6%	38.7%	6.5%	11.6%	16.6%	5.0%	6.5%	6.5%	7.0%
本庁南東(n=121)	37.2%	15.7%	60.3%	15.7%	38.0%	14.9%	9.1%	19.8%	5.0%	9.9%	10.7%	4.1%
鳴尾(n=323)	41.5%	15.8%	62.8%	13.3%	38.1%	12.4%	15.8%	19.5%	3.1%	11.5%	3.4%	5.0%
瓦木(n=262)	38.2%	19.5%	43.5%	23.7%	44.3%	3.8%	13.7%	17.9%	4.2%	8.8%	8.0%	5.3%
甲東(n=237)	42.6%	16.9%	51.9%	15.6%	36.3%	10.5%	11.8%	13.1%	10.1%	11.8%	6.8%	5.5%
塩瀬(n=93)	26.9%	8.6%	57.0%	6.5%	10.8%	21.5%	6.5%	14.0%	51.6%	7.5%	12.9%	4.3%
山口(n=59)	39.0%	6.8%	59.3%	13.6%	22.0%	23.7%	11.9%	15.3%	33.9%	16.9%	22.0%	5.1%
3年未満(n=164)	29.9%	12.2%	37.8%	9.8%	31.7%	4.3%	14.0%	17.1%	14.6%	11.6%	9.8%	9.1%
3～5年前(n=100)	19.0%	18.0%	34.0%	5.0%	31.0%	2.0%	8.0%	14.0%	9.0%	12.0%	10.0%	12.0%
6～10年前(n=157)	24.2%	14.0%	38.2%	12.7%	31.2%	10.8%	11.5%	15.3%	11.5%	12.1%	8.9%	8.3%
11～20年前(n=373)	31.1%	15.0%	48.3%	15.5%	37.3%	10.5%	14.7%	13.7%	9.7%	11.0%	6.7%	7.2%
21年以上前(n=956)	42.7%	17.5%	64.7%	20.3%	35.3%	13.3%	11.2%	17.2%	9.6%	9.4%	6.6%	4.0%

問9 住み良いまちのために住民ができることは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「ひとり暮らしの高齢者の見守りや声かけ（48.0%）」が最も多く、次いで「子どもの通学路の見守りや声かけ（40.5%）」が多くなっています。



<年齢別>

30歳代で「子どもの通学路の見守りや声かけ（55.0%）」、70歳以上で「ひとり暮らしの高齢者の見守りや声かけ（61.1%）」の比率が高くなっています。

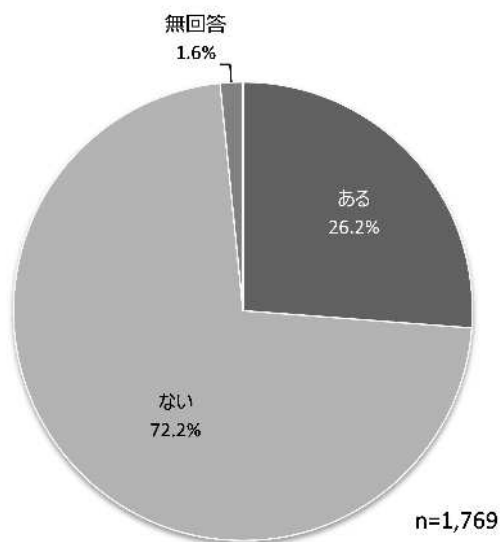
<居住開始時期別>

「21年以上前」から居住している人で「ひとり暮らしの高齢者の見守りや声かけ（53.7%）」の比率が高くなっています。

	地域での各種イベントの実施	地域で交流する場所の管理・運営	各種相談・交流場の提供	地域での健康づくり支援	ひとり暮らしの高齢者の見守りや声かけ	高齢者のための買い物支援（車での送迎など）	地域での各種マナー指導、ルールづくり	ゴミステーションの清掃・管理	地域の公園や道路の清掃、草刈り、樹木剪定	地域の防災・防犯活動の実施	子どもの通学路の見守りや声かけ	その他	無回答
合計(n=1,769)	22.8%	22.3%	26.0%	22.5%	48.0%	19.6%	27.2%	25.8%	34.9%	33.2%	40.5%	2.1%	2.7%
男(n=698)	26.5%	25.1%	24.9%	22.8%	44.3%	17.5%	28.9%	24.2%	33.5%	33.0%	37.1%	2.4%	2.0%
女(n=1,049)	20.6%	20.9%	27.0%	22.6%	51.0%	21.0%	25.7%	26.9%	35.8%	33.2%	43.5%	1.7%	3.2%
その他又は答えたくない(n=14)	-	7.1%	7.1%	-	21.4%	35.7%	35.7%	28.6%	21.4%	35.7%	-	14.3%	-
16～19歳(n=47)	19.1%	21.3%	12.8%	8.5%	27.7%	8.5%	14.9%	14.9%	29.8%	23.4%	29.8%	-	-
20～29歳(n=113)	29.2%	25.7%	18.6%	15.0%	25.7%	13.3%	31.0%	30.1%	24.8%	36.3%	40.7%	0.9%	1.8%
30～39歳(n=220)	24.5%	21.4%	25.0%	13.6%	35.9%	17.3%	31.4%	28.6%	38.2%	33.6%	55.0%	2.7%	2.3%
40～49歳(n=323)	26.3%	18.9%	26.6%	16.1%	43.3%	15.8%	27.9%	23.5%	35.9%	35.3%	43.0%	2.2%	4.3%
50～59歳(n=278)	23.4%	23.4%	24.5%	23.4%	49.6%	19.1%	33.5%	28.4%	29.9%	33.1%	36.7%	2.9%	1.8%
60～69歳(n=355)	22.8%	22.8%	31.3%	31.5%	53.8%	25.4%	24.5%	23.4%	36.3%	31.8%	38.6%	1.7%	2.3%
70歳以上(n=411)	17.8%	24.6%	26.3%	27.5%	61.1%	22.9%	22.4%	26.3%	37.2%	31.9%	36.5%	2.2%	3.2%
本庁北東(n=275)	22.9%	20.7%	26.9%	26.9%	47.3%	14.5%	25.8%	26.5%	34.5%	28.4%	41.5%	2.2%	2.5%
本庁北西(n=123)	22.0%	24.4%	26.0%	17.9%	40.7%	17.9%	26.8%	23.6%	34.1%	27.6%	39.8%	3.3%	2.4%
本庁南西(n=199)	25.1%	21.6%	29.1%	23.1%	46.2%	19.1%	31.2%	26.1%	36.7%	33.7%	41.2%	2.0%	2.0%
本庁南東(n=121)	20.7%	28.1%	21.5%	16.5%	45.5%	21.5%	29.8%	29.8%	45.5%	32.2%	37.2%	1.7%	1.7%
鳴尾(n=323)	25.1%	22.0%	27.2%	21.4%	52.3%	18.6%	28.8%	23.8%	32.5%	35.0%	39.9%	2.2%	3.7%
瓦木(n=262)	21.8%	22.9%	26.7%	20.6%	50.8%	22.5%	28.6%	27.5%	32.1%	37.8%	41.6%	1.9%	1.1%
甲東(n=237)	21.5%	24.1%	25.3%	26.2%	50.2%	19.0%	26.2%	28.3%	37.6%	35.0%	46.8%	2.1%	1.7%
塩瀬(n=93)	25.8%	25.8%	22.6%	25.8%	47.3%	30.1%	12.9%	21.5%	29.0%	33.3%	32.3%	1.1%	4.3%
山口(n=59)	20.3%	22.0%	23.7%	23.7%	54.2%	23.7%	28.8%	18.6%	40.7%	37.3%	35.6%	3.4%	1.7%
3年未満(n=164)	24.4%	23.2%	20.1%	17.1%	34.1%	13.4%	28.0%	28.7%	33.5%	26.8%	43.9%	3.0%	5.5%
3～5年前(n=100)	24.0%	19.0%	22.0%	15.0%	40.0%	14.0%	22.0%	26.0%	37.0%	36.0%	46.0%	1.0%	3.0%
6～10年前(n=157)	30.6%	25.5%	22.9%	17.2%	38.2%	17.2%	34.4%	22.3%	37.6%	31.8%	45.9%	1.9%	1.9%
11～20年前(n=373)	22.0%	21.2%	23.9%	18.8%	46.4%	19.3%	25.5%	22.5%	32.7%	32.7%	40.5%	1.3%	2.1%
21年以上前(n=956)	21.5%	22.9%	28.9%	26.7%	53.7%	22.1%	27.3%	27.2%	35.3%	34.3%	38.9%	2.4%	2.4%

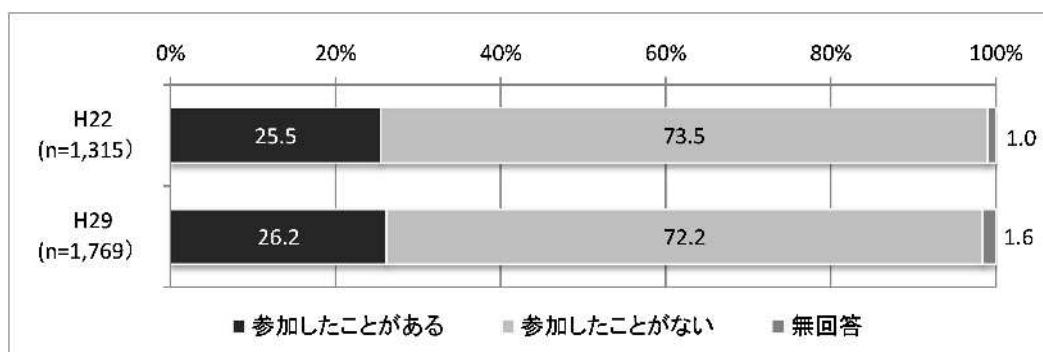
問 10 この1年間で、地域活動やボランティア活動、NPO 活動などに参加したことがありますか。

「ある（26.2%）」よりも「ない（72.2%）」が多く、地域活動等へ参加していない人の方が多いことがわかります。

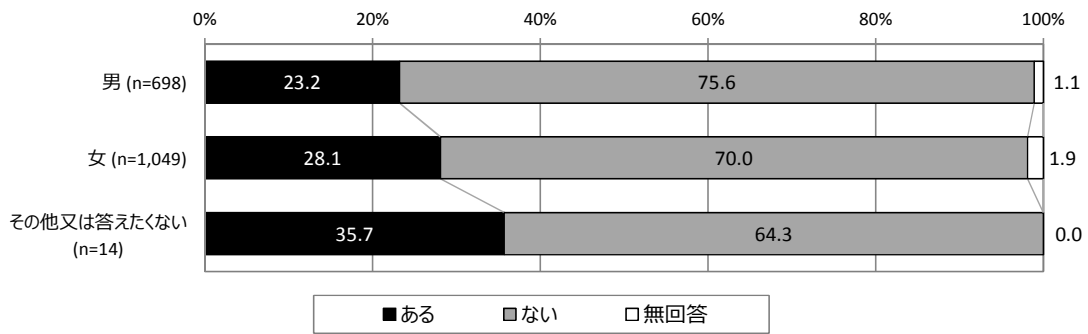


<前回比較>

前回調査では「参加したことがない（73.5%）」が「参加したことがある（25.5%）」を大きく上回っていました。今回の調査でも同様の傾向となっています。

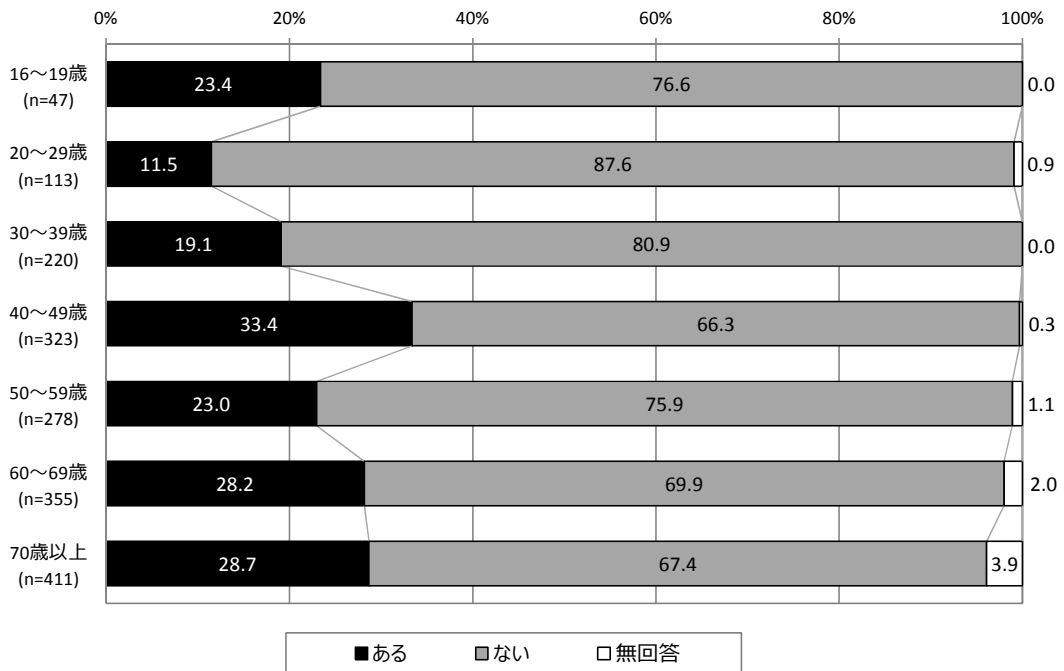


<男女別>



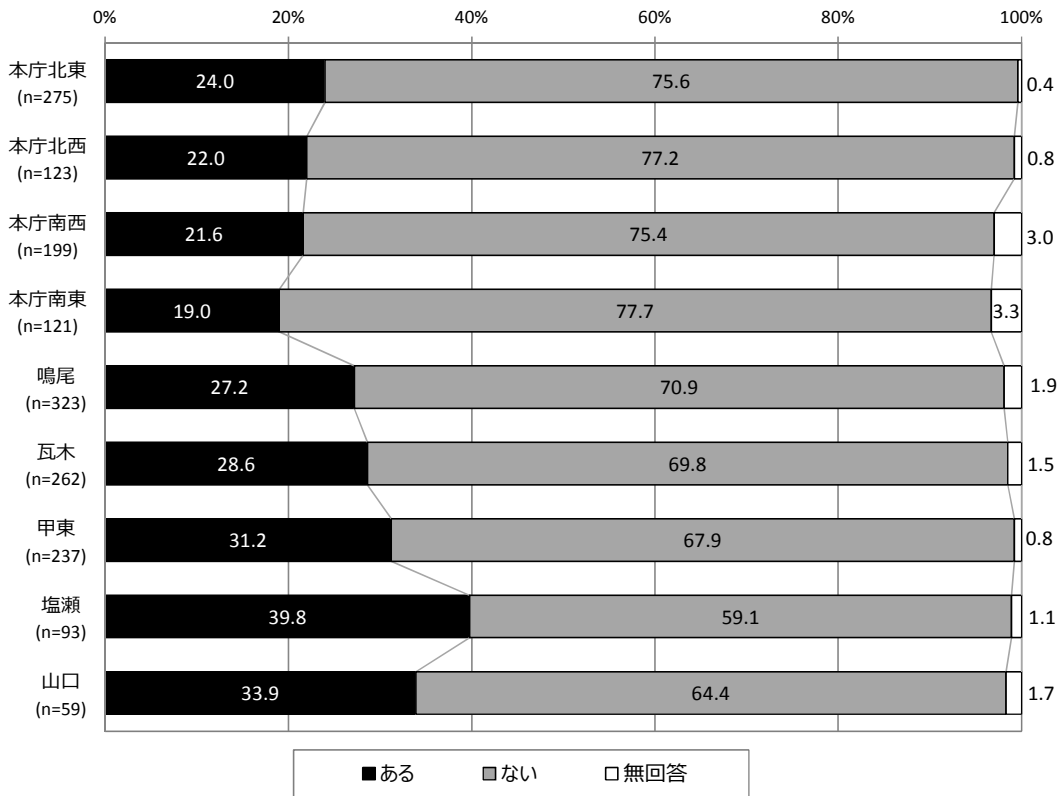
<年齢別>

40歳代で「ある」の比率が高く（33.4%）なっていますが、
20歳代と30歳代で比率が低く（20歳代：11.5%、30歳代：19.1%）なっています。



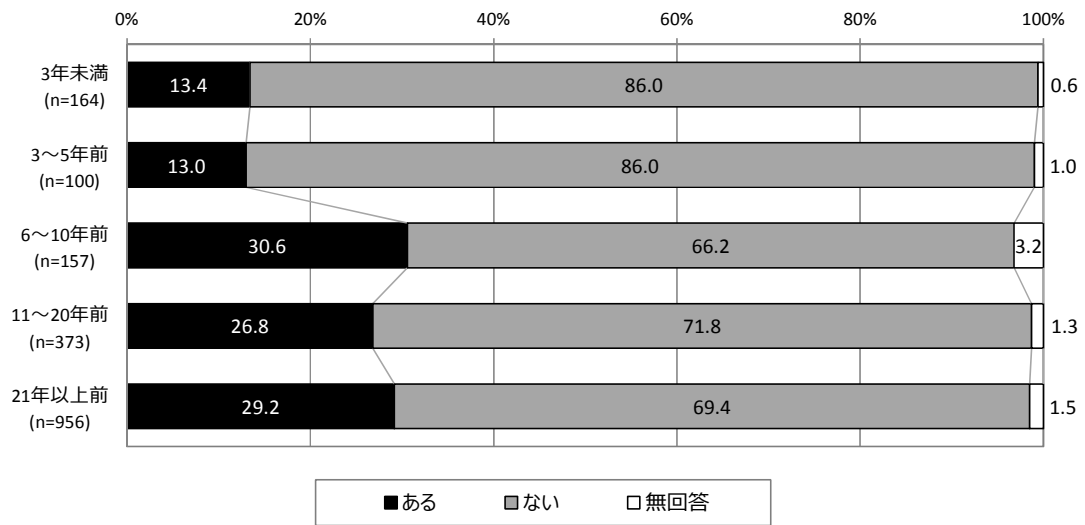
<地域別>

塩瀬で「ある(39.8%)」の比率が高くなっています。



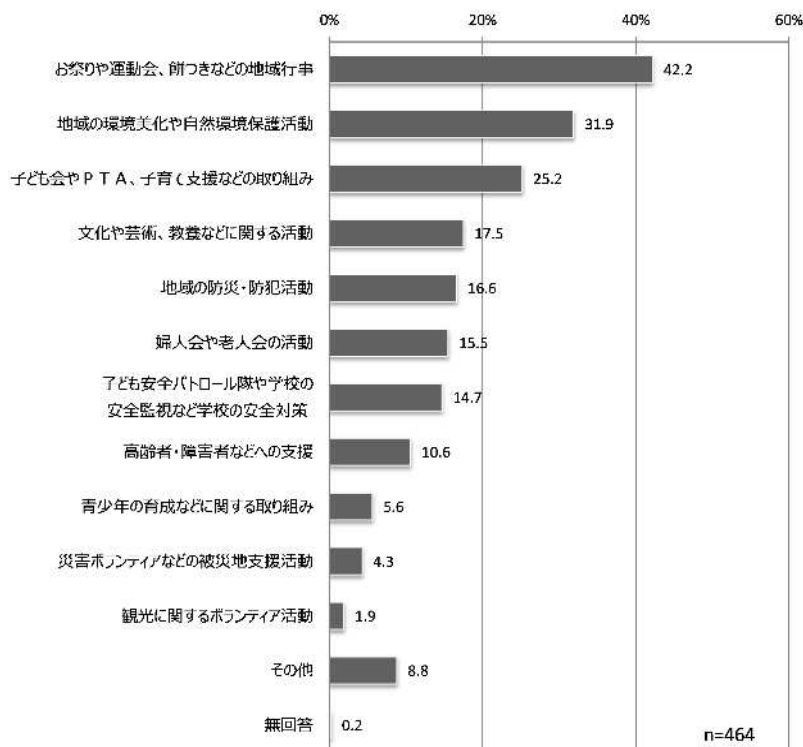
<居住開始時期別>

居住期間「3年未満」の人と「3～5年前」から居住している人で「ある（3年未満：13.4%、3～5年前：13.0%）」の比率が低くなっています。



問 11-1 この1年間で地域活動等に参加したことがある方は、どのような活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事（42.2%）」が最も多く、次いで「地域の環境美化や自然環境保護活動（31.9%）」が多くなっています。



<男女別>

男性で「地域の環境美化や自然環境保護活動（38.9%）」、
女性で「子ども会やPTA、子育て支援などの取り組み（34.2%）」の比率が高くなっています。

<年齢別>

30歳代と40歳代で「子ども会やPTA、子育て支援などの取り組み（30歳代：47.6%、40歳代：57.4%）」、

40歳代で「お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事（54.6%）」、

70歳以上で「地域の環境美化や自然環境保護活動（46.6%）」の比率が高くなっています。

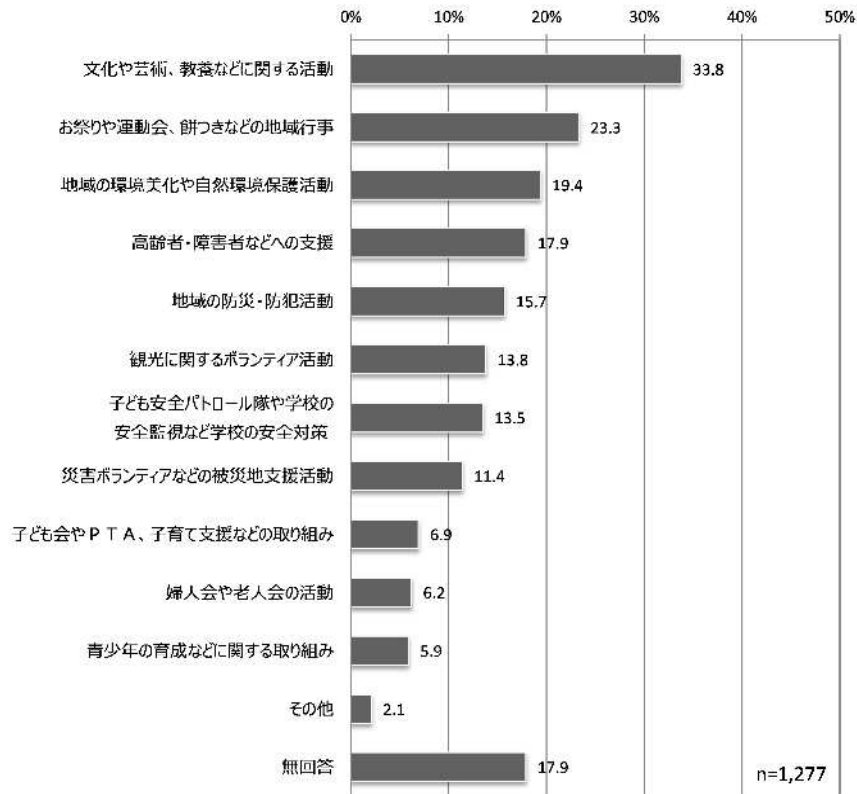
<居住開始時期別>

「6～10年前」から居住している人で「子ども会やPTA、子育て支援などの取り組み（54.2%）」の比率が高くなっています。

	文化や芸術、教養などに関する活動	観光に関するボランティア活動	災害ボランティアなどの被災地支援活動	婦人会や老人会の活動	地域の防災・防犯活動	地域の環境美化や自然環境保護活動	子ども会やPTA、子育て支援などの取り組み	高齢者・障害者などへの支援	子ども安全パトロール隊や学校の安全監視など学校の安全対策	青少年の育成などに関する取り組み	お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事	その他	無回答
合計(n=464)	17.5%	1.9%	4.3%	15.5%	16.6%	31.9%	25.2%	10.6%	14.7%	5.6%	42.2%	8.8%	0.2%
男(n=162)	19.8%	4.3%	8.0%	15.4%	24.1%	38.9%	8.6%	5.6%	5.6%	7.4%	49.4%	6.2%	-
女(n=295)	15.9%	-	2.0%	15.9%	12.9%	28.1%	34.2%	13.2%	19.7%	4.7%	38.6%	10.5%	0.3%
その他又は答えたくない(n=5)	20.0%	40.0%	20.0%	-	-	40.0%	20.0%	20.0%	-	-	40.0%	-	-
16～19歳(n=11)	9.1%	9.1%	9.1%	-	18.2%	45.5%	18.2%	-	-	9.1%	36.4%	-	-
20～29歳(n=13)	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	23.1%	-	7.7%	30.8%	30.8%	-
30～39歳(n=42)	14.3%	4.8%	7.1%	2.4%	4.8%	21.4%	47.6%	4.8%	23.8%	4.8%	52.4%	2.4%	-
40～49歳(n=108)	3.7%	0.9%	1.9%	0.9%	9.3%	18.5%	57.4%	4.6%	31.5%	9.3%	54.6%	5.6%	-
50～59歳(n=64)	17.2%	-	3.1%	4.7%	17.2%	29.7%	18.8%	7.8%	7.8%	4.7%	34.4%	18.8%	-
60～69歳(n=100)	26.0%	2.0%	3.0%	17.0%	24.0%	36.0%	9.0%	17.0%	6.0%	3.0%	37.0%	9.0%	-
70歳以上(n=118)	25.4%	0.8%	6.8%	39.8%	21.2%	46.6%	5.9%	13.6%	8.5%	5.1%	39.8%	6.8%	0.8%
本庁北東(n=66)	22.7%	1.5%	1.5%	9.1%	6.1%	31.8%	33.3%	12.1%	10.6%	7.6%	45.5%	10.6%	-
本庁北西(n=27)	25.9%	-	3.7%	3.7%	18.5%	22.2%	25.9%	11.1%	14.8%	7.4%	44.4%	7.4%	-
本庁南西(n=43)	9.3%	-	7.0%	23.3%	27.9%	34.9%	27.9%	11.6%	16.3%	2.3%	60.5%	9.3%	-
本庁南東(n=23)	21.7%	8.7%	4.3%	21.7%	8.7%	47.8%	26.1%	8.7%	8.7%	13.0%	26.1%	4.3%	4.3%
鳴尾(n=88)	15.9%	4.5%	5.7%	18.2%	19.3%	22.7%	26.1%	9.1%	10.2%	6.8%	33.0%	6.8%	-
瓦木(n=75)	16.0%	1.3%	6.7%	16.0%	24.0%	33.3%	25.3%	10.7%	18.7%	8.0%	48.0%	8.0%	-
甲東(n=74)	10.8%	1.4%	4.1%	10.8%	12.2%	28.4%	20.3%	6.8%	23.0%	1.4%	35.1%	9.5%	-
塩瀬(n=37)	24.3%	-	2.7%	18.9%	13.5%	45.9%	21.6%	16.2%	8.1%	2.7%	54.1%	13.5%	-
山口(n=20)	25.0%	-	-	35.0%	20.0%	45.0%	10.0%	15.0%	15.0%	5.0%	45.0%	10.0%	-
3年未満(n=22)	13.6%	9.1%	9.1%	13.6%	18.2%	18.2%	31.8%	9.1%	22.7%	4.5%	45.5%	4.5%	-
3～5年前(n=13)	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	15.4%	38.5%	-	15.4%	-	46.2%	7.7%	-
6～10年前(n=48)	8.3%	-	-	2.1%	8.3%	18.8%	54.2%	4.2%	25.0%	2.1%	47.9%	2.1%	-
11～20年前(n=100)	12.0%	1.0%	4.0%	11.0%	14.0%	31.0%	34.0%	7.0%	22.0%	10.0%	40.0%	11.0%	-
21年以上前(n=279)	21.5%	1.8%	4.3%	19.7%	19.4%	36.6%	15.8%	13.6%	9.3%	5.0%	41.6%	9.7%	0.4%

問 11-2 この1年間で地域活動等に参加したことがない方は、どのような活動に興味がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「文化や芸術、教養などに関する活動（33.8%）」が最も多く、次いで「お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事（23.3%）」が多くなっています。



<男女別>

女性で「文化や芸術、教養などに関する活動（36.9%）」の比率が高くなっています。

<年齢別>

10歳代～30歳代で「お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事（10歳代：38.9%、20歳代：48.5%、30歳代：43.3%）」の比率が高くなっています。

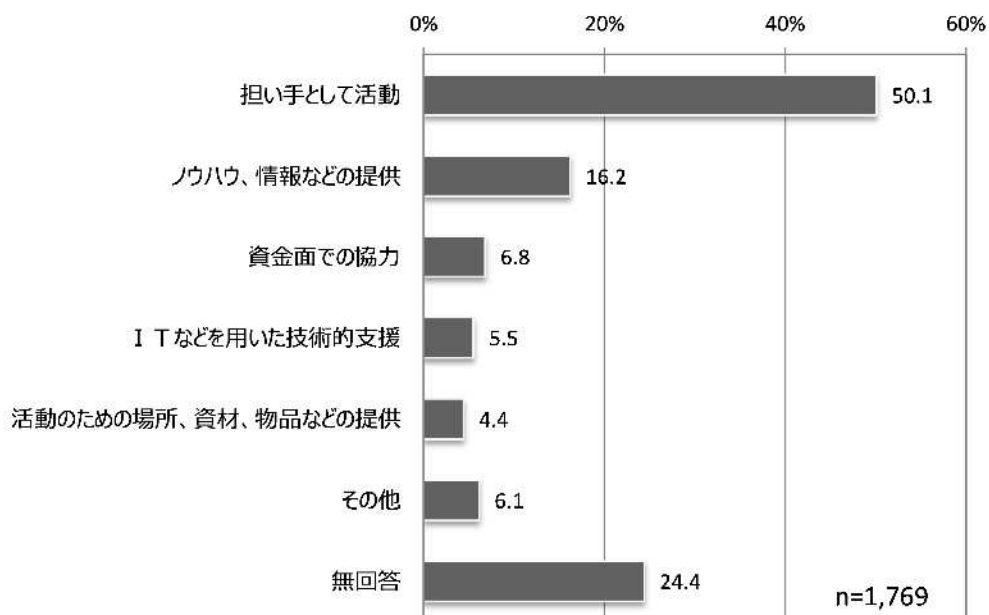
<居住開始時期別>

居住期間「3年未満」の人で「お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事（39.7%）」の比率が高くなっています。

	文化や芸術、教養などに関する活動	観光に関するボランティア活動	災害ボランティアなどの被災地支援活動	婦人会や老人会の活動	地域の防災・防犯活動	地域の環境美化や自然環境保護活動	子ども会やPTA、子育て支援などの取り組み	高齢者・障害者などへの支援	子ども安全パトロール隊や学校の安全監視など学校の安全対策	青少年の育成などに関する取り組み	お祭りや運動会、餅つきなどの地域行事	その他	無回答
合計(n=1,277)	33.8%	13.8%	11.4%	6.2%	15.7%	19.4%	6.9%	17.9%	13.5%	5.9%	23.3%	2.1%	17.9%
男(n=528)	30.1%	12.5%	12.7%	5.1%	20.6%	24.1%	4.7%	17.0%	16.3%	8.0%	25.4%	1.9%	17.0%
女(n=734)	36.9%	14.6%	10.5%	7.1%	12.0%	16.1%	8.6%	18.7%	11.7%	4.4%	21.7%	2.0%	18.5%
その他又は答えたくない(n=9)	11.1%	22.2%	-	-	22.2%	11.1%	-	11.1%	-	11.1%	22.2%	22.2%	-
16～19歳(n=39)	38.9%	19.4%	11.1%	-	13.9%	13.9%	-	8.3%	2.8%	-	38.9%	2.8%	8.3%
20～29歳(n=99)	39.4%	20.2%	14.1%	1.0%	13.1%	8.1%	9.1%	9.1%	11.1%	6.1%	48.5%	1.0%	4.0%
30～39歳(n=178)	30.3%	14.6%	14.6%	0.6%	15.7%	11.2%	16.9%	10.1%	18.0%	5.1%	43.3%	1.7%	11.2%
40～49歳(n=214)	36.4%	19.2%	14.5%	1.4%	13.6%	15.0%	8.9%	14.5%	10.7%	4.7%	23.8%	3.3%	20.6%
50～59歳(n=211)	37.0%	19.9%	11.8%	4.3%	18.0%	19.9%	5.2%	14.7%	10.4%	4.3%	15.6%	1.9%	17.5%
60～69歳(n=248)	32.7%	10.1%	8.9%	8.5%	13.7%	24.6%	3.6%	22.6%	15.3%	6.5%	13.3%	3.6%	21.0%
70歳以上(n=277)	30.7%	4.3%	7.9%	15.9%	18.8%	27.8%	3.2%	28.9%	15.9%	8.7%	13.4%	0.7%	22.7%
本庁北東(n=208)	32.2%	13.0%	9.6%	4.8%	11.5%	24.5%	10.1%	16.3%	13.5%	6.3%	24.5%	1.9%	16.8%
本庁北西(n=95)	36.8%	16.8%	12.6%	4.2%	15.8%	24.2%	8.4%	14.7%	12.6%	3.2%	16.8%	4.2%	17.9%
本庁南西(n=150)	34.0%	14.0%	11.3%	6.7%	17.3%	21.3%	7.3%	17.3%	10.0%	10.0%	16.7%	1.3%	23.3%
本庁南東(n=94)	28.7%	14.9%	18.1%	4.3%	18.1%	13.8%	9.6%	20.2%	17.0%	6.4%	26.6%	5.3%	14.9%
鳴尾(n=229)	31.4%	12.7%	10.0%	8.3%	13.5%	15.7%	5.7%	20.5%	11.8%	6.1%	23.6%	1.7%	19.2%
瓦木(n=183)	36.6%	14.2%	13.7%	7.1%	20.2%	17.5%	4.9%	15.8%	16.9%	3.8%	25.7%	1.1%	14.2%
甲東(n=161)	37.9%	14.9%	11.2%	8.7%	14.3%	18.0%	6.8%	21.7%	16.1%	6.8%	25.5%	2.5%	11.8%
塩瀬(n=55)	41.8%	16.4%	5.5%	1.8%	14.5%	21.8%	1.8%	16.4%	5.5%	3.6%	20.0%	1.8%	20.0%
山口(n=38)	26.3%	5.3%	10.5%	-	13.2%	21.1%	7.9%	23.7%	21.1%	5.3%	28.9%	-	21.1%
3年未満(n=141)	33.3%	13.5%	10.6%	1.4%	15.6%	17.7%	14.9%	11.3%	12.1%	6.4%	39.7%	0.7%	14.9%
3～5年前(n=86)	40.7%	18.6%	14.0%	1.2%	11.6%	9.3%	10.5%	8.1%	19.8%	7.0%	32.6%	1.2%	11.6%
6～10年前(n=104)	32.7%	21.2%	13.5%	7.7%	15.4%	15.4%	9.6%	14.4%	11.5%	4.8%	20.2%	1.0%	18.3%
11～20年前(n=268)	35.4%	14.9%	14.2%	5.2%	18.7%	17.2%	7.1%	16.8%	11.9%	4.5%	22.0%	3.0%	16.0%
21年以上前(n=663)	32.7%	11.8%	9.7%	8.1%	15.2%	22.3%	4.4%	21.6%	14.0%	6.5%	19.3%	2.4%	19.8%

問 12 あなたの力を地域でいかすとしたら、どのような関わり方ができますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「担い手として活動（50.1%）」が最も多く、全体の半数を占めています。次いで「ノウハウ、情報などの提供（16.2%）」が続いています。



<男女別>

男性で「ノウハウ、情報などの提供（23.2%）」の比率が高くなっています。

<居住開始時期別>

居住期間「3年未満」の人で「担い手として活動」の比率が高く（61.6%）なっていますが、「21年以上前」から居住している人で比率が低く（43.3%）なっています。

	担 い 手 と し て 活 動	資 金 面 で の 協 力	活 動 の た め の 場 所 、 資 材 、 物 品 な ど の 提 供	ノ ウ ハ ウ 、 情 報 な ど の 提 供	I T な ど を 用 い た 技 術 的 支 援	そ の 他	無 回 答
合計(n=1,769)	50.1%	6.8%	4.4%	16.2%	5.5%	6.1%	24.4%
男(n=698)	52.0%	6.9%	3.7%	23.2%	8.2%	3.9%	19.6%
女(n=1,049)	48.9%	7.0%	5.0%	11.7%	3.7%	7.5%	27.6%
その他又は答えたくない(n=14)	50.0%	—	—	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%
16～19歳(n=47)	78.7%	2.1%	2.1%	8.5%	8.5%	2.1%	4.3%
20～29歳(n=113)	64.6%	2.7%	3.5%	18.6%	7.1%	6.2%	8.8%
30～39歳(n=220)	61.8%	5.5%	2.3%	12.7%	10.0%	5.5%	13.2%
40～49歳(n=323)	60.7%	7.1%	2.5%	15.8%	5.9%	5.0%	18.6%
50～59歳(n=278)	54.7%	8.3%	3.6%	16.9%	5.4%	6.8%	19.4%
60～69歳(n=355)	47.6%	6.8%	5.9%	17.7%	4.5%	8.5%	25.9%
70歳以上(n=411)	27.5%	8.5%	7.1%	17.3%	3.4%	5.6%	42.8%
本庁北東(n=275)	53.1%	7.3%	5.5%	18.5%	3.3%	4.7%	21.8%
本庁北西(n=123)	52.0%	6.5%	4.9%	12.2%	4.1%	7.3%	22.0%
本庁南西(n=199)	52.8%	5.0%	3.0%	16.6%	6.5%	2.5%	27.1%
本庁南東(n=121)	45.5%	6.6%	5.8%	15.7%	9.1%	8.3%	24.8%
鳴尾(n=323)	47.7%	5.6%	5.3%	14.6%	4.3%	5.6%	27.9%
瓦木(n=262)	56.5%	7.6%	2.3%	14.5%	7.6%	6.1%	20.2%
甲東(n=237)	52.7%	8.4%	4.6%	16.5%	6.3%	8.0%	18.1%
塩瀬(n=93)	43.0%	10.8%	4.3%	23.7%	5.4%	10.8%	22.6%
山口(n=59)	42.4%	5.1%	3.4%	16.9%	6.8%	6.8%	39.0%
3年未満(n=164)	61.6%	4.3%	3.0%	14.0%	7.3%	3.0%	16.5%
3～5年前(n=100)	55.0%	5.0%	3.0%	16.0%	6.0%	5.0%	19.0%
6～10年前(n=157)	54.1%	5.1%	4.5%	13.4%	5.1%	7.0%	20.4%
11～20年前(n=373)	60.3%	7.5%	2.4%	17.2%	6.2%	5.4%	17.4%
21年以上前(n=956)	43.3%	7.5%	5.6%	16.8%	5.1%	7.0%	29.2%

第5次総合計画における施策体系

基本構想		基本計画	
まちづくりの主要課題	将来像	政策分野	施策分野
<p>① 住宅都市としての価値を未来に引き継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な住環境や風光明媚で生物多様性の豊かな自然環境を有し、個性的で美しい景観を備えた都市・西宮を、大切に守り、更にこの価値を高めながら、未来の世代へと引き継いでいく必要があります。 ・近年、市街地中心部で人口が増加し、市街地周辺部や郊外で人口が減少する傾向が続いており、各地域において、人口と公共施設等のバランスや空き家の増減傾向なども考慮しながら、安心して住み続けられる環境を維持していく必要があります。 	<p>1 私たちは、六甲から北摂に連なる山並みと大阪湾、これをつなぐ武庫川や夙川などに抱かれながら憩い、安らかに暮らしており、この地で育まれてきたまちの風情や、自然と都市の景観に誇りを持っています。誰もが安心して行き交い、暮らすことのできる西宮は、活気と魅力にあふれるまちになっています。</p>	<p>第Ⅰ部</p> <p>住環境・自然環境</p>	<p>1 住環境</p> <p>2 緑・自然</p> <p>3 景観</p> <p>4 市街地</p> <p>5 公共交通</p>
<p>② 子供の育ちを応援し、子育てしやすい環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての子供が心身ともに健やかに、たくましく育つような、また、家庭だけでなく、地域全体で子供の育ちを応援できるような世の中であることが求められています。 ・保育所持機児童の解消に取り組むとともに、多様化・高度化する発達支援ニーズへの対応など喫緊の課題に向けて、福祉・教育・保健・医療等の連携を強めていく必要があります。 	<p>2 まちのあちこちから、子供たちの元気な声が聞こえてきます。子育てをする人も、それを応援する人も、誰もが温かい気持ちで西宮の子供たちを育みます。心豊かで健やかに育った子供たちは、将来も西宮に住みたいと感じています。</p>	<p>第Ⅱ部</p> <p>子供・教育</p>	<p>6 子供・子育て支援</p> <p>7 学校教育</p> <p>8 青少年育成</p>
<p>③ 自助と共助(互助)の考えで地域の絆を強め、地域共生の社会に向かう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進行により税収の伸びが見込めない一方で、福祉や子育て支援などの行政需要の増大が予測される状況では、行政による公助のみで全ての需要に対応することは非常に困難となります。 ・増大する地域の課題を市民一人ひとりが「我が事」として捉え、「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、お互いに支え合いながら暮らすことのできる「共助(互助)」の考えに根ざした、顔の見える地域共生社会づくりを進めていくことが求められます。 	<p>3 身近な地域での暮らしを一緒に楽しむ中で、たくさんの縁が生まれています。地域でお互いに見守り、支え合うことのできる西宮のまちで、一人ひとりが生き生きと、自分らしい生活を楽しんでいます。</p>	<p>第Ⅲ部</p> <p>福祉・健康・共生</p>	<p>9 地域福祉</p> <p>10 高齢者福祉</p> <p>11 障害者福祉</p> <p>12 生活支援</p> <p>13 医療保険・年金・医療費助成</p> <p>14 医療サービス</p> <p>15 健康増進・公衆衛生</p> <p>16 共生</p>
<p>④ まちの魅力ある資源を生かし、市民文化を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人々が西宮を愛し、訪れたいくなるよう、恵まれた自然環境、歴史と文化財、「大学のまち」や「スイーツのまち」等の都市ブランド、市内企業、地場産品など、様々なまちの魅力ある資源が発掘され、生かされることが望まれます。 ・文化・芸術やスポーツ、生涯学習などに親しむ市民の姿は、文教住宅都市の心豊かな暮らしを象徴するものであり、これを更に醸成するとともに、市内外へ広く発信することが求められます。 	<p>4 文教住宅都市の個性と魅力にひかれ、移り住む人や訪れる人が増えています。たくさんの人々が学び、働き、遊ぶ中で、様々な交流の輪が広がっており、大学や産業とも連携した、まちの元気が生まれています。</p>	<p>第Ⅳ部</p> <p>都市の魅力・産業</p>	<p>17 文化芸術</p> <p>18 スポーツ</p> <p>19 生涯学習</p> <p>20 都市ブランド</p> <p>21 大学連携</p> <p>22 産業</p> <p>23 農業・食の流通</p> <p>24 就業・労働</p>
<p>⑤ 安全・安心で快適に過ごせるまちの基盤や仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔で快適な生活環境の確保と持続可能なまちづくりのためには、市民、事業者、行政等が一体となって、ごみの減量・再資源化や空き地・空き家の対策などを進める必要があります。 ・市民生活の安全性や快適性を維持・向上させるには、水道水の安定供給や下水の適正処理、交通の円滑化や地域活性化に資する道路整備などが必要となります。また、近年多発する集中豪雨による浸水被害への対策等も求められています。 ・防災・消防・救急の体制強化が求められているほか、「自助」と「共助(互助)」による地域防災力の強化や、地域防犯、交通安全、消費者被害の未然防止など、安全・安心なまちづくりを進めていく必要があります。 	<p>5 きれいな水や緑がある、清潔で快適な暮らしが、みんなの生活を豊かにしています。私たちの暮らしを支える都市基盤は、一段と安全で利用しやすいものとなっています。</p> <p>地域では、あらゆる年齢の人々が防災・減災の活動に参加し、何かあっても助け合えるつながりと、より強固になった行政の防災体制に、みんなが安心を感じています。</p>	<p>第Ⅴ部</p> <p>環境・都市基盤</p> <p>安全・安心</p>	<p>25 環境保全</p> <p>26 生活環境</p> <p>27 水道</p> <p>28 下水道</p> <p>29 道路</p> <p>30 防災・減災</p> <p>31 消防</p> <p>32 防犯・交通安全・消費者安全</p>
<p>⑥ 地域力の向上を図りつつ、長期的な展望に立った持続可能な行政運営を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域力の向上に向けて、地域活動の担い手を安定的に確保するための幅広い人材の育成・発掘、地域行政のあり方、コミュニティ拠点施設の有効活用などを検討する必要があります。 ・長期計画の策定、行政評価の活用、財政基盤の強化、公共施設マネジメントや広域連携の推進などにより、長期展望に立った計画的で効率的な行政運営を行うとともに、効果的な情報発信・広報・広聴により西宮への関心や愛着を高める必要があります。 ・市税の適正な賦課・徴収により市の財源確保に努めるとともに、取り巻く行政課題に柔軟に対応すべく、組織体制や事務の見直し・適正化、人事管理・人材育成等を的確に行う必要があります。また、行政の様々な分野でAIやIoTを積極的に活用することで、持続可能な行政運営を実現する必要があります。 	<p>6 たくさんの人が地域の活動やまちづくりに積極的に参加し、西宮のまちに対する人々の愛着と誇りが住民自治の成熟につながっています。ICT分野における技術革新等を最大限活用した、効率的で公正な行政運営がみんなから信頼されています。</p>	<p>第Ⅵ部</p> <p>政策推進</p>	<p>33 住民自治・地域行政</p> <p>34 行財政</p> <p>35 執行体制</p>

第5次西宮市総合計画基本構想（原案）の特徴について

- ① 本市が人口減少に転じたタイミングで策定する計画だが、人口減少の抑制や子育て世代の転入促進といった、人口対策の一般論的な方向性について、特に記載をしていないこと。
- ② まちづくりの主要課題の一番目に、「住宅都市としての価値を未来に引き継ぐ」を位置づけるとともに、その中で、市内での人口の偏在や、人口と公共施設等のバランスの考慮について言及していること。
- ③ 第4次総合計画までのような、いわゆるキャッチフレーズ的な基本目標を定めるのではなく、10年後のまちや人の姿を将来像として提示し、それを目標としていること。
- ④ 将来像における「都市空間形成の基本的な方向性」について、第4次総合計画よりも詳細に記述し、将来都市構造図を掲載していること。
- ⑤ 「将来像の実現に向けて」において、広域連携やAI、IoTなどのICTの活用による業務の効率化や市民の利便性向上に資する仕組みづくりの推進を打ち出していること。